PENTAX®

デジタルカメラ

# Optio M10

## 使用説明書

カメラの正しい操作のため、ご使用前に
必ずこの使用説明書をご覧ください。

## はじめに

このたびは、ペンタックス・デジタルカメラOptio M10をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本製品の機能を十分活用していただくために、ご使用になる前に本書をよくお読みください。また本書をお読みになった後は必ず保管してください。使用方法がわからなくなったり、機能についてもっと詳しく知りたいときにお役に立ちます。

### 著作権について

本製品を使用して撮影した画像は、個人で楽しむなどの他は、著作権法により、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物の中には、個人として楽しむ目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また著作権の目的となっている画像は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

### 商標について

PENTAXおよびペンタックス、Optioおよびオプティオはペンタックス株式会社の登録商標です。
SDロゴは商標です。
QuickTime™およびQuickTimeロゴは、ライセンスに基づいて使用される商標です。QuickTimeは、米国およびその他の国々で登録された商標です。
その他、記載の商品名、会社名は各社の商標もしくは登録商標です。

### 本機を使用するにあたって

- 強い電波や磁気を発生する施設などの周囲では、カメラが誤動作を起こす場合があります。
- 液晶モニターに使用されている液晶パネルは、非常に高度な精密技術で作られています。99.99％以上の有効画素数がありますが、0.01％以下の画素で点灯しないものや常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。なお、記録される画像には影響ありません。

本製品はPRINT Image Matching IIIに対応しています。PRINT Image Matching対応プリンターでの出力及び対応ソフトウェアでの画像処理において、撮影時の状況や撮影者の意図を忠実に反映させることが可能です。なお、PRINT Image Matching IIIより前の対応プリンターでは、一部機能が反映されません。
PRINT Image Matching、PRINT Image Matching II、PRINT Image Matching IIIに関する著作権はセイコーエプソン株式会社が所有しています。

### PictBridgeについて

PictBridgeは、プリンターとデジタルカメラを直接接続して、画像をプリントアウトするダイレクトプリントの統一規格で、カメラ側から簡単な操作で画像をプリントできます。

### ImageLinkについて

ImageLinkおよびImageLink print systemのロゴは米国Eastman Kodak Companyの登録商標です。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用されることを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書にしたがって、正しい取り扱いをしてください。

本文中のイラストおよび液晶モニターの表示画面は、実際の製品と異なる場合があります。

# ご注意ください

この製品の安全性については充分注意を払っておりますが、下記マークの内容については特に注意をしてお使いください。

 **警告**　このマークの内容を守らなかった場合、人が重大な傷害を受ける可能性があることを示すマークです。

 **注意**　このマークの内容を守らなかった場合、人が軽傷または中程度の傷害を受けたり、物的損害の可能性があることを示すマークです。

## 本体について

 **警告**

- カメラを分解・改造などしないでください。カメラ内部に高電圧部があり、感電の危険があります。
- 落下などにより、カメラ内部が露出したときは、絶対に露出部分に手をふれないでください。感電の危険があります。
- SD メモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かないでください。誤って飲み込む恐れがあります。万一、飲み込んだと思われる場合は、直ちに医師にご相談ください。
- ストラップが首に巻き付くと危険です。小さなお子様がストラップを首に掛けないようにご注意ください。
- ACアダプターは、必ず専用品を指定の電源・電圧でご使用ください。専用品以外のACアダプターをご使用になったり、専用のACアダプターを指定以外の電源・電圧でご使用になると、火災・感電・故障の原因になります。
- 使用中に煙が出ている、変なにおいがするなどの異常が発生した場合、すぐに使用を中止して電池またはACアダプターを取り外したうえ、サービス窓口にご相談ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。

### ⚠ 注意

- 電池をショートさせたり、火の中に入れないでください。また、分解しないでください。破裂・発火の恐れがあります。
- 充電式のニッケル水素電池以外は充電しないでください。破裂・発火の恐れがあります。このカメラに使用できる電池の種類で、ニッケル水素電池以外は充電ができません。
- ストロボの発光部に手を密着させたまま発光させないでください。やけどの恐れがあります。
- ストロボの発光部を衣服などに密着させたまま発光させないでください。変色などの恐れがあります。
- 電池の液が目に入ったときは、失明の恐れがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。
- 電池の液が皮膚や衣服に付着したときは、皮膚に障害をおこす恐れがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。
- 万一、カメラ内の電池が発熱・発煙を起こした時は、速やかに電池を取り出してください。その際は、やけどに充分ご注意ください。
- このカメラには、使用していると熱を持つ部分があります。その部分を長時間持ちつづけると、低温やけどを起こす恐れがありますのでご注意ください。
- 万一液晶が破損した場合、ガラスの破片には十分ご注意ください。中の液晶が皮膚や目に付いたり、口に入らないよう十分にご注意ください。

## 電池の取り扱いについてのご注意

- このカメラは、単3形アルカリ電池、単3形リチウム電池、単3形ニッケル水素電池、単3形ニッケルマンガン電池のいずれか2本を使用します。これら以外の電池は使用しないでください。カメラの性能が十分に発揮できない場合や、電池の破裂、発火の原因となることがあります。
- 単3形アルカリ電池、単3形リチウム電池、単3形ニッケルマンガン電池は充電ができません。また電池は分解しないでください。無理に充電や分解をすると、破裂や液漏れの原因となります。
- 電池を交換するときは、メーカー、種類、容量の異なる電池を混ぜて入れないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて入れないでください。電池の破裂、発火の原因となります。
- 電池の「＋」と「－」の向きを間違えて入れないでください。電池の破裂、発火の原因となります。

### ACアダプターについて

 **注意**

- AC コードの上に重いものを載せたり、落としたり、無理にまげたりしてコードを傷めないでください。もしACコードが傷んだら、当社お客様相談センター、またはお客様窓口にご相談ください。
- コンセントに差し込んだまま、AC コードの接続部をショートさせたり、さわったりしないでください。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- 強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。故障の原因となります。

## 取り扱い上の注意

- 海外旅行にお出かけの際は、国際保証書をお持ちください。また、旅行先での問い合わせの際に役立ちますので、製品に同梱しておりますワールドワイド・サービス・ネットワークも一緒にお持ちください。
- 長時間使用しなかったときや、大切な撮影（結婚式、旅行など）の前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能しているかを確認してください。万一、カメラや記録媒体（SDメモリーカード）などの不具合により、撮影や再生、パソコン等への転送がされなかった場合、画像や音声などの記録内容の保証についてはご容赦ください。
- このカメラはレンズ交換式ではありません。レンズの取り外しはできません。
- 汚れ落としに、シンナーやアルコール、ベンジンなどの有機溶剤は使用しないでください。
- 高温多湿の所は避けてください。特に車の中は高温になりますのでカメラを車内に放置しないでください。
- 防腐剤や有害薬品のある場所では保管しないでください。また、高温多湿の場所での保管は、カビの原因となりますので、乾燥した風通しのよい場所に、カメラケースから出して保管してください。
- このカメラは防水カメラではありませんので、雨水などが直接かかる所では使用できません。
- 強い振動・ショック・圧力などを加えないでください。オートバイ・車・船などの振動は、クッションを入れて保護してください。
- カメラの使用温度範囲は0℃～40℃です。

- 高温では液晶表示が黒くなることがありますが、常温に戻れば正常になります。
- 低温下では、液晶の表示応答速度が遅くなることもありますが、これは液晶の性質によるもので、故障ではありません。
- 高性能を保つため、1～2年ごとに定期点検にお出しいただくことをお勧めします。
- 急激な温度変化を与えると、カメラの内外に結露し水滴が生じます。カメラをバッグやビニール袋などに入れ、温度差を少なくしてから取り出してください。
- ゴミや泥・砂・ホコリ・水・有害ガス・塩分などがカメラの中に入らないようにご注意ください。故障の原因になります。雨や水滴などが付いたときは、よく拭いて乾かしてください。
- SDメモリーカードの取り扱いについては、「SDメモリーカード使用上の注意」（p.28）をご覧ください。
- SDメモリーカードや内蔵メモリーに記録されたデータは、カメラやパソコン等の機能による消去やフォーマットを行っても、市販の修復ソフトを使用すると、データを再び取り出せることがあります。データの取り扱いや管理は、お客様の責任において行ってください。
- 破損や故障の原因になりますので、液晶モニターの表面を強く押さないでください。
- カメラを腰のポケットに入れた状態で椅子などに座ると、カメラが変形したり液晶モニターが破損する恐れがありますのでご注意ください。
- 三脚使用時は、ネジの締め過ぎに十分ご注意ください。

# 目次

## 撮影 57

## 画像の再生と消去 93



## 画像の編集と印刷 110



## 音声の録音と再生 124

## 設定 129



## 付録 142

操作説明中で使用されている表記の意味は次のようになっています。

| ☞ | 関連する操作の説明が記述されているページを記載しています。 |
|---|---|
| メモ | 知っておくと便利な情報などを記載しています。 |
| 注意 | 操作上の注意事項などを記載しています。 |
| 📷モード | 静止画と動画の撮影、音声の録音をするモードです。本書では、静止画を撮影するモードを「静止画撮影モード」、動画を撮影するモードを「🎥モード」、音声を録音するモードを「🎙モード」と表記します。 |
| ▶モード | 静止画と動画、音声を再生するモードです。 |
| 😊, P, 🌃, 🎥, 🎙, 🏔, 🌸, 👤, ⛄, 🏃, 😊, 🐕, SOFT, ⊛, 🖐, 🍴 | タイトルの上に表示されたマークは、その機能が使える撮影モードを表します。<br>例） P 🎥<br>**シャープネスを設定する** |

# 本書の構成

本書は、次の章で構成されています。

**1 準備**

お買い上げ後、写真を撮るまでの準備操作について説明しています。撮影をはじめる前に必ずお読みになり、操作を行ってください。

**2 クイックスタート**

一番簡単な撮影方法と再生方法を説明しています。すぐに撮影、再生したいときは、このページをご覧ください。

**3 機能共通操作**

各ボタンの機能、メニューの設定方法など、各機能に共通する操作について説明しています。詳しい内容は、4章以降をご覧ください。

**4 撮影**

さまざまな撮影の方法や、撮影に関する機能の設定方法について説明しています。

**5 画像の再生と消去**

静止画や動画をカメラやテレビで再生する方法、カメラから消去する方法について説明しています。

**6 画像の編集と印刷**

撮影した静止画を印刷するためのさまざまな方法や、カメラで編集する方法について説明しています。撮影した画像のパソコンへの保存方法とACDSee for PENTAXのインストール方法に関しては別紙の「PC接続ガイド」を、パソコンでの画像の加工や印刷方法に関してはACDSee for PENTAXのヘルプをご覧ください。

**7 音声の録音と再生**

音声の録音や静止画像に音声（ボイスメモ）を追加する方法、音声の再生のしかたを説明しています。

**8 設定**

カメラに関する機能の設定方法について説明しています。

**9 付録**

困ったときの対処のしかたや、別売品の案内などをしています。

# このカメラの楽しみ方

Optio M10では、一般的な写真撮影のほか、いろいろなシーンに応じたバリエーションに富んだ撮影方法をお楽しみいただけます。ここでは、Optio M10の特長的な楽しみ方をご紹介しましょう。操作説明のページもあわせてご覧いただき、ぜひOptio M10の楽しさを味わってみてください。

## 撮影も再生も、カメラがナビゲートしてくれる！

Optio M10は、少ないボタンで操作ができるカンタン設計。いろいろなシーンで最適な設定を選べる「撮影モード」（p.51）も、再生・編集を楽しむための「再生モード」（p.93、p.110）も、わかりやすいアイコンを選ぶだけでOK。たとえば撮影モードでは、撮影モードパレットを使って15種類の撮影シーンアイコンからセレクト。動き回る仔犬の愛らしいショット、夜空に大輪の華を咲かせる花火の写真などの他、動画の記録や音声の録音もできます。
各モードの機能や使い方も、液晶モニターに表示されるガイドで確認できる親切設計です。（p.56）

- **めんどうな設定はカメラにまかせて。**
- **グリーンモードを使うと、標準設定で手軽に撮影可能。（p.58）**
- **モードパレット表示時にグリーンボタンを押すと、ガイドを表示。（p.56）**

## フレームをあらかじめ選んで構図を決められる！

Optio M10では、カメラに内蔵されたフレームを撮影時に表示し、そのフレームに合わせた構図の撮影が行えます。撮影後にフレーム合成して、フレームと被写体のバランスが微妙に合わない・・・なんていう悩みはありません。（p.64）

● **フレームを使った記念写真に。**

## パソコンがなくても簡単にプリントできる！

PictBridge対応のプリンターなら、カメラをUSBケーブルでつないでダイレクトにプリントできます。また、付属のドックインサートをセットしたKodak EasyShareプリンタードックなら、そのままカメラをプリンターにセット、ボタンひとつで誰でも簡単に写真のプリントを楽しめます。
せっかく撮った写真を家庭でプリントしたいけど、パソコンの操作はどうも難しくて・・・なんてあきらめる必要はありません。

● **パソコンを使わず、お手軽ラクラクプリント。**

# 主な同梱品の確認

本体
Optio M10

ストラップ
O-ST51（※）

ドックインサート
O-DI51

ソフトウェア（CD-ROM）
S-SW48

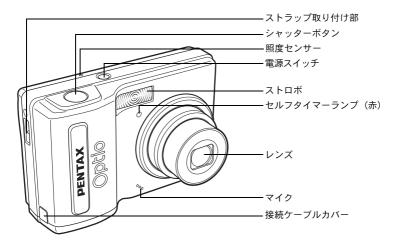
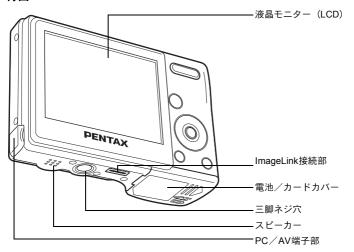
USBケーブル
I-USB7（※）

AVケーブル
I-AVC7（※）

単3形アルカリ電池
（2本）

PC接続ガイド

使用説明書
（本書）

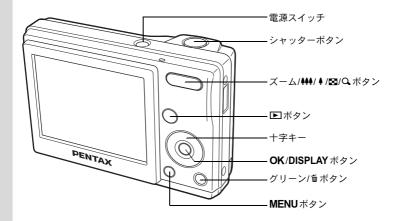
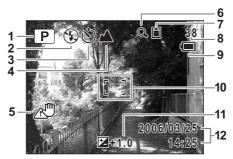
保証書

（※）の製品は、別売アクセサリーとしてもご用意しております。
その他の別売アクセサリーについては、「別売アクセサリー一覧」（p.146）をご覧ください。

# 各部の名称

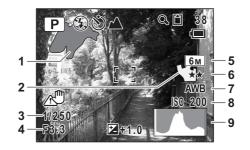
## 前面

ストラップ取り付け部
シャッターボタン
照度センサー
電源スイッチ
ストロボ
セルフタイマーランプ（赤）
レンズ
マイク
接続ケーブルカバー
PENTAX
Optio

## 背面

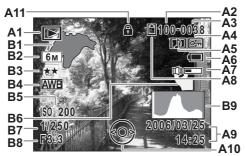
液晶モニター（LCD）
PENTAX
ImageLink接続部
電池／カードカバー
三脚ネジ穴
スピーカー
PC／AV端子部

# 操作部の名称

各ボタンの機能は、「ボタンの機能を使用する」(p.42～p.45)をご覧ください。

# 画面の表示

**静止画撮影モード 通常表示**

撮影条件などを表示します。

**1** 撮影モード（p.51）
**2** ストロボモード（p.73）
**3** ドライブモード（p.62、p.63、p.64）
**4** フォーカスモード（p.71）
**5** 手ぶれ警告表示（p.69）
**6** デジタルズーム表示（p.66）
**7** メモリー状態表示（p.32）
  ：内蔵メモリー（カードなし）
  ：SDメモリーカード
  ：カードロック状態
**8** 撮影可能枚数
**9** 電池残量表示（p.22）
**10** フォーカスフレーム（p.38）
**11** 露出補正値（p.68）
**12** 現在の日時（p.36）

**静止画撮影モード フル表示**

**1** 白とび（赤で点滅）
**2** 黒つぶれ（黄色で点滅）
**3** シャッター速度
**4** 絞り値
**5** 記録サイズ（p.75）
**6** 画質（p.77）
**7** ホワイトバランス（p.78）
**8** 感度（p.81）
**9** ヒストグラム（p.70）

**「白とび」「黒つぶれ」表示について**

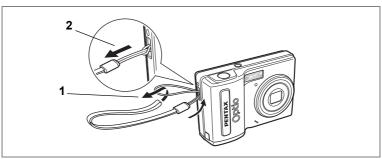
被写体の中で明るすぎて白くとんでしまう部分がある場合、その部分が赤の点滅で警告表示されます。また暗すぎて黒くつぶれてしまう部分がある場合、その部分が黄色の点滅で警告表示されます。

**静止画再生モード フル表示**
**（説明のためにすべてを表示させたイラストで記載しています。）**

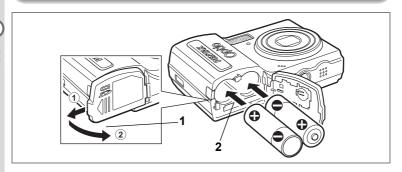
撮影条件などを表示します。A1～A11は「通常表示」、「ヒストグラム＋情報」表示のいずれの場合も表示されます。B1～B9は「ヒストグラム＋情報」表示のときにのみ表示されます。（p.98）

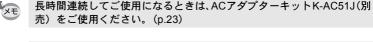
**A1** 再生モード（p.55）
**A2** フォルダ番号（p.136）
**A3** ファイル番号
**A4** 画像プロテクト表示（p.108）
**A5** ボイスメモ表示（p.128）
**A6** 電池残量表示（p.22）
**A7** 音量表示（p.128）
**A8** メモリー状態表示（p.32）
　：内蔵メモリー（カードなし）
　：SDメモリーカード
　：カードロック状態
**A9** 撮影日時（p.36）
**A10** 十字キーガイド表示
**A11** キーロック表示（p.58）
**B1** 白とび（赤で点滅）（p.17）
**B2** 記録サイズ（p.75）
**B3** 画質（p.77）
**B4** ホワイトバランス（p.78）
**B5** 感度（p.81）
**B6** 黒つぶれ（黄色で点滅）（p.17）
**B7** シャッター速度
**B8** 絞り値
**B9** ヒストグラム（p.70）

通常表示時にボタン操作を2秒間何も行わないと、A6、A9の表示は消えます。

**ガイド表示について**

操作中は液晶モニターにボタン操作のガイドが表示されます。
ガイド表示では、ボタンは次のように表されます。

| | |
|---|---|
| 十字キー（▲） | ▲ |
| 十字キー（▼） | ▼ |
| 十字キー（◀） | ◀ |
| 十字キー（▶） | ▶ |
| **MENU**ボタン | MENU |

| | |
|---|---|
| ズームボタン | 🔍 |
| **OK/DISPLAY** ボタン | OK |
| シャッターボタン | SHUTTER |
| グリーン/🗑ボタン | ◉、🗑 |

# ストラップを取り付ける

付属のストラップ（O-ST51）を取り付けます。

**1　ストラップの細いひもの部分を、本体のストラップ取り付け部に通す**

**2　ストラップ端を細いひもの輪にくぐらせて引き締める**

# 電源を準備する

## 電池をセットする

カメラに電池をセットします。電池は単3形アルカリ電池、単3形リチウム電池、単3形ニッケル水素電池、単3形ニッケルマンガン電池のいずれかを2本使用します。

**1　電池／カードカバーを開ける**

①の方向に引き出してから②の方向に引き上げます。

**2　電池の向きを電池室内の＋－表示に合わせて、挿入する**

**3　電池／カードカバーを閉めて、水平方向に押し込む**

長時間連続してご使用になるときは、ACアダプターキットK-AC51J（別売）をご使用ください。（p.23）

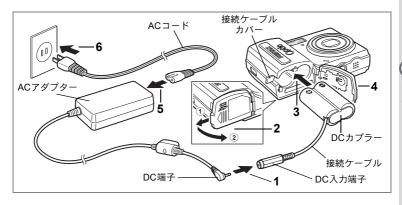
- 単3形アルカリ電池、単3形リチウム電池、単3形ニッケルマンガン電池は充電式ではありません。
- 電源スイッチがオンのときは、電池／カードカバーを開けたり、電池を取り出したりしないでください。
- 長い間使わないときは、電池を取り出しておいてください。長期間入れたままにしておくと、電池が液もれすることがあります。
- カメラの購入直後や、電池を取り出して長期間経過してから電池を入れた直後に、電源スイッチを押すと「電池容量がなくなりました」のメッセージが表示されることがありますが、異常ではありません。しばらく待ってから再度電源スイッチを押すと、正常に電源が入ります。また、このとき、日時の設定がリセットされることがあります。
- 電池は正しく入れてください。間違った向きに入れると、故障の原因になります。また、電池の電極をよく拭いてから装填してください。

### • 静止画撮影可能枚数と動画撮影、音声録音、再生時間の目安
**（23℃・液晶モニター点灯・電池交換時）**

各種の電池を利用したときの撮影可能枚数と再生時間です。

| 電池種別 | 静止画撮影枚数※1 | 動画撮影時間※2 | 音声録音時間※2 | 再生時間※2 |
|---|---|---|---|---|
| 単3形リチウム電池 | 900枚 | 310分 | 1340分 | 850分 |
| 単3形ニッケル水素電池 | 640枚 | 230分 | 740分 | 660分 |
| 単3形ニッケルマンガン | 430枚 | 120分 | 540分 | 490分 |
| 単3形アルカリ電池 | 220枚 | 90分 | 430分 | 380分 |

※1：撮影可能枚数はCIPA規格に準じた測定条件による目安であり、使用条件により変わります。（CIPA規格抜粋：液晶モニターON、ストロボ使用率50％、23℃）
※2：時間は当社の測定条件による目安であり、使用条件により変わります。

- 使用環境温度が下がると、電池の性能が低下します。寒冷地で使用する場合は、予備の電池を用意して衣服の中で保温するなどしてご使用ください。なお、低温によって低下した電池の性能は、常温の環境で元に戻ります。
- 単3形アルカリ電池は特性上、カメラの性能を十分に発揮できない場合がありますので、緊急用として以外は、使用をおすすめしません。
- 単3形アルカリ電池、単3形ニッケルマンガン電池は特性上、低温ではカメラの性能を十分に発揮できないことがあります。低温でご使用の際は、単3形リチウム電池など他の電池の使用をお勧めします。
- 海外旅行などの長期のおでかけ、寒冷地で撮影する場合や、大量に撮影する場合は、予備電池をご用意ください。



- **電池の残量表示**

液晶モニターに表示された▭で、電池の残量を確認できます。

| 画面表示 | 電池の状態 |
|---|---|
| ▭ （緑） | 電池がまだ十分に残っています。 |
| ▭ （緑） | 少し減っています。 |
| ▭ （黄） | だいぶ減っています。 |
| ▭ （赤） | 残量がほとんどありません。 |
| 「電池容量がなくなりました」 | メッセージ表示後、電源がオフとなります。 |

単3形ニッケルマンガン電池使用時、電池特性の関係で電池残量が正しく表示されないことがあります。十分使用された電池であっても、電池残量表示が▭になる場合があります。また、表示が▭のまま、警告なく電源がオフになることがあります。

## 家庭用電源で使用する

長時間ご使用になるときや、パソコンと接続するときは、ACアダプターキットK-AC51J（別売）を接続して、家庭用電源でのご使用をおすすめします。
※AC アダプターキット K-AC51J は、AC アダプター D-AC5、DC カプラー D-DC51、ACコードD-CO2Jのセットです。

**1　ACアダプターのDC端子を、DCカプラーのDC入力端子に接続する**

**2　カメラの電源が切れていることを確認してから、電池／カードカバーを開ける**

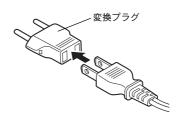
①の方向に引き出してから②の方向に引き上げます。

**3　DCカプラーの向きを電池室内の⊕⊖表示に合わせて、挿入する**

**4　接続ケーブルで接続ケーブルカバーを押し開きながら、電池／カードカバーを閉める**

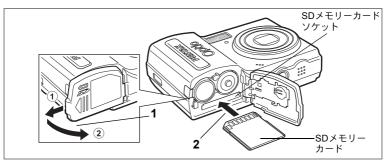
電池／カードカバーは、①と逆方向へ水平に押し込みます。電池／カードカバーが開かないよう、奥までしっかり押し込んでください。

**5　ACコードをACアダプターに接続する**

**6　電源プラグをコンセントに差し込む**

- AC アダプターを接続または外すときは、必ずカメラの電源が切れた状態で行ってください。
- 電源および接続ケーブルはしっかりと差し込んでください。記録中にケーブルが外れると、データが破壊されることがあります。
- ACアダプターを使用する場合は、火災や感電に十分ご注意ください。ご使用の前に、必ず「ご注意ください」(p.1)をお読みください。
- ACアダプターをご使用になるときは、ACアダプターキットK-AC51Jに同梱の使用説明書をあわせてご覧ください。

## 海外でACアダプターを使用する

AC アダプターキットK-AC51J(別売)は、自動で全世界の電源電圧(100-240V)、電源周波数(50Hz、60Hz)に切り替わるように設計されています。
ただし、国、地域、滞在先によって電源コンセントの形状は異なります。海外旅行をされる場合は、「主な国、地域の代表的な電源コンセントのタイプ」(p.25)を参考に電源コンセントの形状を確かめ、その国、地域、滞在先に合った変換プラグを準備してください。

- 市販の変圧器などを使用すると、故障する恐れがあります。
- ご使用にならないときは、変換プラグをコンセントから外してください。

| タイプ | A | B | BF | C | S |
|---|---|---|---|---|---|
| 形状 | | | | | |
| 変換プラグ | 不要です | | | | |

ACアダプターキットK-AC51J(別売)に付属のACコードD-CO2Jは、タイプAです。

## 主な国、地域の代表的な電源コンセントのタイプ

| | | A | B | BF | C | S |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 北米 | アメリカ合衆国、カナダ | ○ | | | | |
| ヨーロッパ、旧ソ連地域 | アイスランド、アイルランド、イタリア、ウクライナ、オーストリア、オランダ、カザフスタン、ギリシャ、スウェーデン、デンマーク、ドイツ、ノルウェー、ハンガリー、フィンランド、フランス、ベラルーシ、ベルギー、ルーマニア、ロシア | | | | ○ | |
| | イギリス | | ○ | ○ | | |
| | スペイン | ○ | | | ○ | |
| | スイス、ポーランド、ポルトガル | | ○ | | ○ | |
| アジア | 日本、台湾 | ○ | | | | |
| | スリランカ、モルジブ | | ○ | | | |
| | ネパール、バングラデシュ、モンゴル | | | | ○ | |
| | ベトナム | ○ | | | ○ | |
| | インド、インドネシア、パキスタン、マカオ特別区 | | ○ | | ○ | |
| | タイ | ○ | | ○ | ○ | |
| | 大韓民国 | ○ | ○ | | ○ | |
| | フィリピン | ○ | | | ○ | ○ |
| | シンガポール、香港特別行政区 | | ○ | ○ | | |
| | 中華人民共和国 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | マレーシア | | ○ | ○ | ○ | |
| オセアニア | オーストラリア、トンガ、ニュージーランド、フィジー | | | | | ○ |
| | グァム島 | ○ | | | | |
| | タヒチ | | | | ○ | |
| 中南米 | コロンビア、ジャマイカ、ハイチ、パナマ、バハマ、プエルトリコ、ベネズエラ、メキシコ | ○ | | | | |
| | ブラジル、ペルー | ○ | | | ○ | |
| | チリ | | ○ | | ○ | |
| | アルゼンチン | | | ○ | ○ | ○ |
| 中東 | イスラエル、イラン | | | | ○ | |
| | クウェート | | ○ | | ○ | |
| | ヨルダン | | ○ | ○ | | |
| アフリカ | カナリア諸島、ギニア、モザンビーク、モロッコ | | | | ○ | |
| | ケニア、南アフリカ共和国 | | ○ | | ○ | |
| | アルジェリア | ○ | ○ | ○ | | |
| | エジプト | | ○ | ○ | ○ | |
| | ザンビア、タンザニア | | ○ | ○ | | |

# SDメモリーカードをセットする

このカメラで使用できるカードは、SDメモリーカードです。撮影した画像や録音した音声は、カメラにセットしたSDメモリーカードに記録されます。SDメモリーカードをセットしていないときは、内蔵メモリーに記録されます。(p.32)

- **未使用または他のカメラで使用したSDメモリーカードは、必ずこのカメラでフォーマットしてからご使用ください。フォーマットについては「SD メモリーカード/内蔵メモリーをフォーマットする」(p.129)をご覧ください。**
- SD メモリーカードをセットするときや取り出すときは、必ず電源をオフにしてください。

撮影できる静止画の枚数は、使用するSDメモリーカードの容量と画像の記録サイズ、画質によって異なります。(p.29)

**データバックアップのおすすめ**
内蔵メモリーに記録されたデータは、故障などの原因でまれに読み出しができなくなることがあります。大切なデータは、パソコンなどを利用して、内蔵メモリーとは別の場所に保存しておくことをおすすめします。

## 1 電池／カードカバーを開ける

①の方向に引き出してから②の方向に引き上げます。

## 2 SD メモリーカードのラベル面をカメラの液晶モニター側に向け、カメラのSDメモリーカードソケットに挿入する

カードはカチッと音がするまでしっかり押し込んでください。カードがしっかり入っていないと、画像や音声が正常に記録されないことがあります。

## 3 電池／カードカバーを閉めて、水平方向に押し込む

### SDメモリーカードを取り出す

## 1 電池／カードカバーを開ける

## 2 SDメモリーカードを中に押し込む

SDメモリーカードが少し飛び出しますので、そのまま引き抜いてください。

1
準備

**SDメモリーカード使用上の注意**

- SDメモリーカードには､ライトプロテクトスイッチが付いています。スイッチをLOCK側に切り替えると、新たにデータを記録、消去またはカードのフォーマットをすることが禁止され、それまで保存したデータが保護されます。
  液晶モニターではと表示されます。
- カメラ使用直後にSDメモリーカードを取り出すと、カードが熱くなっている場合がありますのでご注意ください。
- SDメモリーカードへのデータ記録中や、画像・音声の再生中、またはUSBケーブルでパソコンと接続中には、カードを取り出したり電源を切ったりしないでください。データの破損やカードの破損の原因となります。
- SDメモリーカードは、曲げたり強い衝撃を与えないでください。また、水に濡らしたり、高温になる場所に放置しないでください。
- SDメモリーカードのフォーマット中には絶対にカードを取り出さないでください。カードが破損して使用できなくなることがあります。
- SDメモリーカードに保存したデータは、以下の条件で消去される場合がありますので、ご注意ください。消去されたデータについては、当社では一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
  (1) 使用者がSDメモリーカードの取り扱いを誤ったとき
  (2) SDメモリーカードを静電気や電気ノイズのある場所に置いたとき
  (3) 長期間カードを使用しなかったとき
  (4) SDメモリーカードにデータ記録中､またはデータ読み出し中にカードを取り出したり、電池を抜いたとき
- SDメモリーカードには寿命があります。長期間使用しない場合は、保存したデータが読めなくなることがあります。必要なデータは、パソコンなどへ定期的にバックアップを取るようにしてください。
- 静電気や電気ノイズの発生しやすい場所での使用や保管は避けてください。
- 急激な温度変化や、結露が発生する場所、直射日光のあたる場所での使用や保管は避けてください。
- 一部の書込み速度の遅いSDメモリーカードでは、カードに空き容量があっても動画撮影時に途中で撮影が終了したり、撮影、再生時に動作が遅くなる場合があります。
- SDメモリーカードご購入の際は、あらかじめ動作確認済みのものであるかを当社ホームページでご確認いただくか､お客様相談センターにお問い合わせください。

## 静止画の記録サイズと画質

撮影する静止画の「記録サイズ」（横×縦の大きさ）と「画質」（画像記録時のデータ圧縮率）は、撮影後の画像の用途に応じて設定します。
「記録サイズ」や「画質」を大きい値に設定するほど鮮明な画像になります。ただし、画像の容量が増えるので、撮影できる枚数（カメラの内蔵メモリーやSDメモリーカードに記録できる枚数）は少なくなります。
なお、撮影した写真や印刷した写真の美しさ、鮮明さには、画質設定や露出補正などの撮影時設定、あるいは使用するプリンターの解像度なども関係してきますので、記録サイズをむやみに大きくする必要はありません。はがきサイズにプリントする場合は、2M（1600×1200）程度が目安となります。下の表を参考に、用途に応じて適切な「記録サイズ」と「画質」を設定してください。

### ● 選べる記録サイズと適した用途

| 記録サイズ | | 用途 |
|---|---|---|
| 6M 2816×2112 | ↑ 鮮明、きれい | フォトプリントなどの高画質印刷、A4以上の大判プリント、画像編集などの加工用など |
| 5M 2560×1920 | | |
| 4M 2304×1728 | | |
| 3M 2048×1536 | | |
| 2M 1600×1200 | | はがきサイズプリントなど |
| 1024 1024× 768 | | |
| 640 640× 480 | | ホームページ掲載、電子メール添付など |

**初期設定では、6M（2816×2112）が選択されています。**

### ● 選べる画質と適した用途

| | | |
|---|---|---|
| ★★★ | S.ファイン | 圧縮率が最も低く、写真用のプリントなどに適しています。 |
| ★★ | ファイン | 圧縮率が標準で、パソコンの画面で画像を見るときに適しています。 |
| ★ | エコノミー | 圧縮率が最も高く、電子メールへの添付やホームページ掲載用に適しています。 |

**初期設定では、★★（ファイン）が選択されています。**

静止画の「記録サイズ」と「画質」の設定は、「◘撮影」メニューで行います。

記録サイズを選択する ☞p.75

画質を選択する ☞p.77

## ● 記録サイズ／画質と撮影可能枚数の目安

| | ★★★（S.ファイン） | | ★★（ファイン） | | ★（エコノミー） | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 内蔵メモリー | 128MB | 内蔵メモリー | 128MB | 内蔵メモリー | 128MB |
| 6M 2816×2112 | 7枚 | 41枚 | 14枚 | 83枚 | 22枚 | 124枚 |
| 5M 2560×1920 | 8枚 | 49枚 | 17枚 | 95枚 | 24枚 | 137枚 |
| 4M 2304×1728 | 11枚 | 62枚 | 22枚 | 124枚 | 31枚 | 178枚 |
| 3M 2048×1536 | 13枚 | 77枚 | 27枚 | 153枚 | 40枚 | 223枚 |
| 2M 1600×1200 | 22枚 | 124枚 | 37枚 | 206枚 | 54枚 | 301枚 |
| 1024 1024× 768 | 43枚 | 244枚 | 74枚 | 412枚 | 93枚 | 522枚 |
| 640 640× 480 | 87枚 | 489枚 | 127枚 | 712枚 | 175枚 | 979枚 |

• この表の数値は、被写体、撮影状況、撮影モード、使用するSDメモリーカードなどにより変わります。

## 動画の記録サイズとフレームレート

撮影する動画の「記録サイズ」と「フレームレート」（1秒間に撮る画面数）は、動画の用途に応じて設定します。
「記録サイズ」を大きい値に設定するほど鮮明な画像になりますが、ファイルサイズが増えます。
「フレームレート」を大きい値にするほど滑らかな動きになりますが、ファイルサイズが増えます。
動画の「記録サイズ」と「フレームレート」の設定は、「撮影」メニューの「動画」で行います。

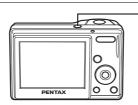
動画の記録サイズを選択する ☞p.90

フレームレートを選択する ☞p.92

### ● 選べる記録サイズと適した用途

| | |
|---|---|
| 320 (320×240) | パソコンの画面で見るのに適しています。 |
| 160 (160×120) | ファイルサイズは小さくなりますが、記録時間は長くなります。電子メールやホームページでの公開に適しています。 |

**初期設定では、320（320×240）が選択されています。**

### ● 選べるフレームレートと適した用途

| | |
|---|---|
| 30fps | 動きの滑らかな動画で記録されます。記録時間は短くなります。 |
| 15fps | 画像の容量が小さくなるため、記録時間が長くなります。 |

**初期設定では、30fps（フレーム／秒）が選択されています。**

### ● 記録サイズ／フレームレートと撮影可能時間の目安

| | 30fps | | 15fps | | 音声 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 内蔵メモリー | 128MB | 内蔵メモリー | 128MB | 内蔵メモリー | 128MB |
| 320 320×240 | 33秒 | 3分6秒 | 1分3秒 | 5分55秒 | 47分57秒 | 4時間27分19秒 |
| 160 160×120 | 2分7秒 | 11分51秒 | 3分54秒 | 21分45秒 | | |

- この数値は、当社で設定した標準撮影条件によるもので、被写体、撮影状況、使用するSDメモリーカードなどにより変わります。

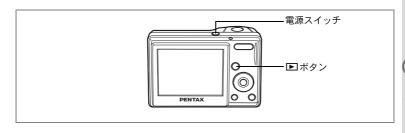
# 電源をオン／オフする

## 1 電源スイッチを押す

電源がオンになり、液晶モニタが点灯します。
電源をオンにすると、レンズバリアが開き、レンズが前に繰り出します。
カメラの電源を入れたときに、「言語設定」あるいは「日時設定」の画面が表示された場合は、p.34の手順に従って設定を行ってください。

## 2 もう一度電源スイッチを押す

電源がオフになり、液晶モニタが消灯してレンズが収納されます。

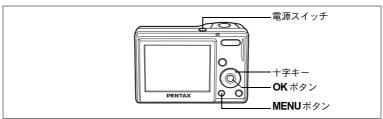
撮影する ☞p.57

### カードチェック

電源をオンにすると、カードチェックが自動的に行われます。SDメモリーカードがセットされていないと、液晶モニターに📷が表示されます。その場合、画像や音声は内蔵メモリーに記録されます。
またSDメモリーカードのライトプロテクトスイッチがLOCKになっていると、▯のかわりに🔒が表示されます。ロック状態では画像や音声の記録はできません。

カメラの購入直後や、電池を取り出して長期間経過してから電池を入れた直後に、電源スイッチを押すと「電池容量がなくなりました」のメッセージが表示されることがありますが、異常ではありません。しばらく待ってから再度電源スイッチを押すと、正常に電源が入ります。また、この場合は日時などの設定が初期化されていることがありますので、p.36の手順に従って設定をしなおしてください。

## 再生専用モード

再生専用モードは、レンズが収納された再生モードです。撮影はせずに、すぐに画像や音声を再生したいときに使用します。シャッターボタンなどを押しても、📷モードには移行しません。

### 1 ▶ボタンを押しながら、電源スイッチを押す

レンズは収納されたまま液晶モニタが点灯し、再生専用モードで起動します。

- 再生専用モードから 📷 モードへ切り替えるには、いったん電源をオフにしてから、もう一度オンにしてください。
- 撮影モードで▶ボタンを2秒以上押すと、再生モードに切り替わり、レンズが収納されます。再生専用モードと異なり、もう一度▶ボタンやシャッターボタンを押すと撮影モードになります。

静止画を再生する ☞p.40

# 初期設定をする



ご購入後、最初にお使いになる前に、まず言語と日時を設定してください。

カメラの電源を入れたときに、「言語設定」の画面が表示されたら、下記の「言語を設定する」の手順で言語を「日本語」に、「日時を設定する」（p.36）の手順で日時を現在の日時に設定してください。
「日時設定」の画面が表示されたら、「日時を設定する」（p.36）に進んでください。

設定した「言語」と「日時」は後から変更することができます。操作方法は下記のページをご覧ください。
- 言語を変更したいときは：「表示言語を変更する」（☞p.135）
- 日時を変更したいときは：「日時を変更する」（☞p.133）

## 言語を設定する

**1 十字キー（▲▼◀▶）で「日本語」を選ぶ**

**2 OK ボタンを押す**

「日時設定」画面が表示されます。
引き続き「日時を設定する」（p.36～37）の手順で、日付の表示スタイル、現在の日付と日時を設定します。

もし誤って、日本語以外の言語を選んで**OK**ボタンを押してしまったら、下記のメニュー操作で日本語に設定し直してください。

**1　OKボタンを1回押す**

**2　MENUボタンを押す**

**3　十字キー（▶）を押す**

**4　十字キー（▼▲）を押して、「Language/言語」を選ぶ**

**5　十字キー（▶）を押す**

「Language/言語」画面が表示されます。

**6　十字キー（▲▼◀▶）で「日本語」を選ぶ**

**7　OKボタンを押す**

日本語の「設定」メニュー画面が表示されます。

ここまでの操作で、「Language/言語」が「日本語」に設定し直されました。「日時」は、その前に誤って設定してしまった言語に対応した設定になっています。「日時を変更する」（p.133）の手順で「日時」を現在の日時に設定し直してください。

# 日時を設定する

日付の表示スタイルと現在の日付、時刻を設定します。

**1　十字キー（▶）を押す**

選択枠が「年/月/日」に移動します。

**2　十字キー（▲▼）を押して、日付の表示スタイルを設定する**

**3　十字キー（▶）を押す**

選択枠が「24h」に移動します。

**4　十字キー（▲▼）を押して、「24h」（24時間表示）または「12h」（12時間表示）を設定する**

**5　十字キー（▶）を押す**

選択枠が「表示スタイル」に戻ります。

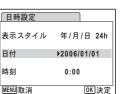
**6　十字キー（▼）を押す**

選択枠が「日付」に移動します。

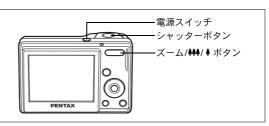
**7　十字キー（▶）を押す**

選択枠が「西暦年」に移動します。

**8　十字キー（▲▼）を押して、西暦年を設定する**

同様に「月」「日」を設定します。
続いて時刻欄を設定します。
手順4で「12h」を選択した場合は、時刻調整に連動してAM／PMが切り替わります。

## 9　OK ボタンを押す

撮影できる状態になります。

設定した「言語」「日時」は後から変更することができます。操作方法は下記のページをご覧ください。
- 言語を変更したいときは：「表示言語を変更する」（☞p.135）
- 日時を変更したいときは：「日時を変更する」（☞p.133）

初期設定の途中で**MENU** ボタンを押すと、それまで設定した内容がキャンセルされますが、撮影することはできます。この場合は、次回電源を入れたときに再度、初期設定を行う画面が表示されます。

手順9で**OK** ボタンを押すと、0秒にセットされます。時報に合わせて**OK** ボタンを押すと、秒単位まで正確な日時設定が行えます。

「ビデオ出力」方式は、初期設定の「Language/言語」で設定した国や地域の方式が設定されます。「日本語」以外を設定した場合は、「ビデオ出力」方式も確認してください。（p.138）

# 静止画を撮影する

最も標準的な撮影方法を説明します。ストロボは、明るさに応じて自動的に発光します。

## 1 電源スイッチを押す

電源がオンになり、静止画が撮影できる状態になります。本書ではこの状態を「静止画撮影モード」と表記します。

フォーカスフレーム

## 2 液晶モニターを確認する

液晶モニター中央のフォーカスフレームの中が、自動でピントが合う範囲です。
ズーム/♠♠♠/♠ ボタンを左右に押すと、被写体の写る範囲が変わります。

♠ ：被写体を拡大して写す

♠♠♠：被写体を広い範囲で写す

## 3 シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、液晶モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。

## 4 シャッターボタンを全押しする

撮影されます。
撮影した画像は液晶モニターに1秒間表示（クイックビュー）された後、SDメモリーカードまたは内蔵メモリーに保存されます。（p.39）

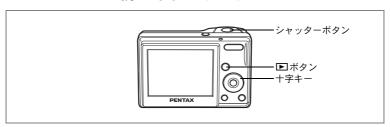
グリーンボタンを押すと、すべての撮影条件をカメラが自動設定するグリーンモードに切り替わります。グリーンモードでは、もっとも簡単にきれいな写真が撮れます。（p.58）

## シャッターボタンの押しかた

シャッターボタンは「半押し」と「全押し」の2段階になっています。

**半押し**
シャッターボタンを軽く押した状態です。ピント位置、露出がロックされます。半押しのとき、ピントが合うと液晶モニターに緑色の枠が点灯します。ピントが合っていないときは、赤い枠が点灯します。

**全押し**
シャッターボタンを下まで押した状態です。撮影が行われます。

[ピント合わせの苦手な条件]

写したいものが下の例のような条件にある場合は、ピントが合わないことがあります。こんなときはいったん撮りたいものと同じ距離にあるものにピントを固定（シャッターボタン半押し）し、その後構図を撮りたい位置に戻してシャッターを切ります。

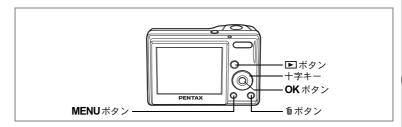
- 青空や白壁など極端にコントラストが低いもの
- 暗い場所、あるいは真っ暗なものなど、光の反射しにくい条件
- 細かい模様の場合
- 非常に速い速度で移動しているもの
- 遠近のものが同時に存在する場合
- 反射の強い光、強い逆光（周辺が特に明るい場合）

## クイックビュー

撮影直後には、撮影した画像が液晶モニターに1秒間表示（クイックビュー）されます。クイックビューの表示時間は変更できます。（p.82）
クイックビュー中に 🗑 ボタンを押すと、画像を消去できます。

# 静止画を再生する

## 画像を再生する

**1 撮影後に▶ボタンを押す**

撮影した画像が液晶モニターに表示されます。本書ではこの状態を▶モード（再生モード）と表記します。また、▶モード時に画像が1枚だけ表示されている状態（▶モードの初期状態）を「1画面表示」と呼びます。
▶モード時にもう一度▶ボタンを押すか、シャッターボタンを半押しすると、📷モードに切り替わります。

## 前後の画像を再生する

**1 撮影後に▶ボタンを押す**

撮影した画像が液晶モニターに表示されます。

**2 十字キー（◀▶）を押す**

前後の画像が表示されます。

## 表示された画像を回転表示する

**1 撮影後に▶ボタンを押す**

撮影した画像が液晶モニターに表示されます。

**2 十字キー（▼）を押す**

再生モードパレットが表示されます。

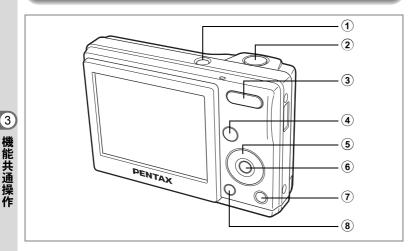
**3 十字キー（▲▼◀▶）で ◇（画像回転）を選ぶ**

**4 OKボタンを押す**

1回押すごとに、画像が時計回りに90度ずつ回転して表示されます。

**5 MENUボタンを2回押す**

回転した状態で画像が表示されます。

- 動画は回転表示できません。
- プロテクトされた画像は、回転表示はできますが、回転された状態は記録されません。

### 表示した画像を消去するには

画像表示中に🗑ボタンを押すと、表示中の画像を消去する画面が表示されます。十字キー（▲）を押して「消去」を選び**OK**ボタンを押すと、表示中の画像を消去できます。（p.103）

# ボタンの機能を使用する

## ◘モード時

① **電源スイッチ**
電源をオフにします。(p.32)

② **シャッターボタン**
静止画撮影モードで半押しすると、ピント合わせを行います。(フォーカスモードが、▲、**MF**のときを除く)(p.38)
全押しすると、静止画を撮影します。(p.38)
🎥モードでは、動画の撮影を開始、終了します。(p.88)
🎙モードでは、音声の録音を開始、終了します。(p.124)

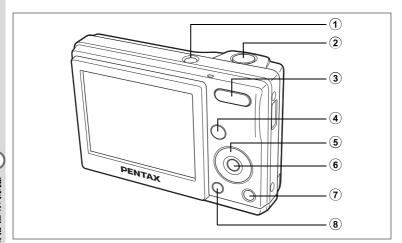
③ **ズーム/♠♠♠/♠/▣/🔍ボタン**
撮影する範囲を変えます。(p.66)

④ **▶ボタン**
▶モードに切り替えます。(p.93)

### ⑤ 十字キー

（▲）　：ドライブモードを切り替えます。（p.62、p.63、p.64）
（▼）　：撮影モードパレットを表示します。（p.51）
（◀）　：ストロボモードを切り替えます。（p.73）
（▶）　：フォーカスモードを切り替えます。（p.71）
（▲▼）：**MF**設定時、**MF**調整をします。（p.72）

### ⑥ OK/DISPLAYボタン

液晶モニターに表示される情報を切り替えます。（p.69）

### ⑦ グリーンボタン

グリーンモードに移行します。（p.58）
撮影モードパレット表示時は、選択項目の説明を表示します。（p.56）

### ⑧ MENUボタン

「◘撮影」メニューを表示します。（p.46）

## ▶モード時

① **電源スイッチ**
電源をオフにします。（p.32）

② **シャッターボタン**
半押しすると📷モードに切り替わります。（p.93）

③ **ズーム/▦/🔍ボタン**
1画面表示時に▦を押すと9画面表示に、もう1度▦を押すとフォルダ表示になります。🔍を押すと、前の表示に戻ります。（p.94）
1画面表示時に🔍を押すと画像が拡大表示されます。▦を押すと前の表示に戻ります。（p.96）
動画・音声再生中に音量調節ができます。（p.101、p.126）

④ **▶ボタン**
📷モードに切り替えます。（p.93）

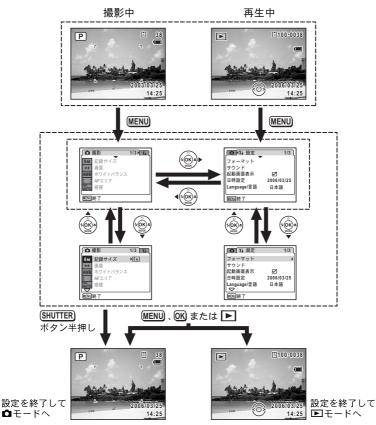
### ⑤ 十字キー

（▲）　　　：動画・音声を再生／一時停止します。（p.101、p.126）
（▼）　　　：再生モードパレットに移行します。（p.56）
再生中の動画・音声を停止します。（p.101、p.126）
（◀▶）　　：1画面表示時は、前後の画像・音声を表示します。（p.40）
動画表示時は、コマ送り、コマ戻し、逆方向再生をします。（p.101）
音声再生時は、早送り、巻き戻し、インデックス位置への移動をします。（p.126）
（▲▼◀▶）：拡大表示時は、表示範囲を移動します。（p.96）
9画面表示時は画像、フォルダ表示時はフォルダを選択します。（p.94）

### ⑥ OK/DISPLAYボタン

液晶モニターに表示される情報を切り替えます。（p.98）
拡大表示、9画面表示時は、1画面表示に戻ります。（p.94、p.96）
フォルダ表示時は、選択フォルダの9画面表示に変わります。（p.95）

### ⑦ グリーン/🗑ボタン

1画面表示時は、消去画面に移行します。（p.103）
9画面表示時は、選択消去画面に移行します。（p.105）
再生モードパレット表示時は、選択項目の説明を表示します。（p.56）

### ⑧ MENUボタン

1画面表示時は、「🔧設定」メニューを表示します。（p.46）
再生モードパレット表示時は、1画面表示に戻ります。（p.55）
拡大表示、9画面表示時は、1画面表示に戻ります。（p.94、p.96）
フォルダ表示時は、選択フォルダの9画面表示に変わります。（p.95）

# カメラの機能を設定する

カメラの設定を変更するには、**MENU** ボタンを押して、「◘ 撮影」メニューと「設定」メニューを呼び出します。また、画像や音声の再生・編集に関するメニューは、再生モードパレットから呼び出します。

## メニューで設定する

◘ モードで**MENU**ボタンを押すと、「◘ 撮影」メニューが表示されます。
▶ モードで**MENU**ボタンを押すと、「設定」メニューが表示されます。

メニュー操作中は、使用するボタンやキーの機能が液晶モニターにガイド表示されます。

### 例）「撮影」メニューの「画質」の設定をする

## 1 モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

## 2 十字キー（▼）を押す

選択枠が「記録サイズ」に移動します。

## 3 十字キー（▼）を押す

選択枠が「画質」に移動します。

## 4 十字キー（▶）を押す

選べる内容がポップアップで表示されます。
ポップアップには、現在のカメラの条件で選べる設定が表示されます。

## 5 十字キー（▲▼）で設定を切り替える

十字キー（▲▼）を押すたびに、画質が切り替わります。

設定の保存方法、変更の取り消し方法については、次のページをご覧ください。

## 設定を保存して撮影をしたいとき

### 6 シャッターボタンを半押しする

設定が保存され、撮影できる状態になります。
全押しすると、写真が撮影されます。

## 設定を保存して再生をしたいとき

### 6 ▶ボタンを押す

設定が保存され、再生できる状態になります。

## 設定を保存して続いてメニュー操作をしたいとき

### 6 OKボタンまたは十字キー（◀）を押す

設定が保存され、手順3に戻ります。

## 変更を取り消してメニュー操作を続けたいとき

### 6 MENUボタンを押す

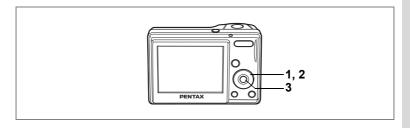
変更が取り消され、手順3に戻ります。

**MENU**ボタンの機能は、画面によって異なります。ガイド表示を参照してください。

MENU 終了 ：メニュー操作を終了し、元の画面に戻ります。
MENU ↩ ：現在の設定のまま、手順3の画面に戻ります。
MENU 取消 ：現在の選択を保存しないでメニュー操作を終了し、手順3の画面に戻ります。

# メニュー一覧

メニュー画面で設定できる項目とその内容を示します。カメラの電源をオフにしたとき設定を維持するかどうか、リセットしたときに初期設定に戻すかどうかについては、付録の「初期設定一覧」（p.142）をご覧ください。

## 「撮影」メニュー

撮影に関するメニューです。

| 項目 | | 内容 | 参照 |
|---|---|---|---|
| 記録サイズ | | 静止画像の記録サイズを選びます。 | p.75 |
| 画質 | | 静止画像の画質を選びます。 | p.77 |
| ホワイトバランス | | 撮影時の光の状態に合わせて色を調整します。 | p.78 |
| AFエリア | | オートフォーカスの対象になる範囲を変更します。 | p.80 |
| 感度 | | 感度を設定します。 | p.81 |
| 露出補正 | | 撮影する画像全体の明るさを調整します。 | p.68 |
| 動画 | 記録サイズ | 動画の記録サイズを選びます。 | p.90 |
| | フレームレート | フレームレート（1秒間に撮る画面数）を設定します。 | p.92 |
| | カラーモード | 動画のカラーモードを選びます。 | p.91 |
| デジタルズーム | | デジタルズーム撮影を使うかどうかを設定します。 | p.67 |
| クイックビュー | | クイックビューの表示時間を設定します。 | p.82 |
| モードメモリ | | 電源オフ時に撮影機能の設定値をメモリーするか、初期設定に戻すかを設定します。 | p.86 |
| シャープネス | | 画像の境界をハードまたはソフトにします。 | p.83 |
| 彩度 | | 色の鮮やかさを設定します。 | p.84 |
| コントラスト | | 画像の明暗差の度合いを設定します。 | p.85 |

「撮影」メニューの設定に関係なく、標準設定で手軽に撮影を楽しみたいときは、グリーンモードを利用してください。（p.58）

## 「設定」メニュー

| 項目 | 内容 | 参照 |
|---|---|---|
| フォーマット | SDメモリーカードまたは内蔵メモリーをフォーマットします。 | p.129 |
| サウンド | 音量、起動音、シャッター音、操作音、セルフタイマー音を設定します。 | p.130 |
| 起動画面表示 | 起動画面を設定します。 | p.132 |
| 日時設定 | 日付、時刻、それぞれの表示スタイルを設定します。 | p.133 |
| Language/言語 | メニューやメッセージを表示する言語を設定します。 | p.135 |
| フォルダ名 | 画像や音声を保存するフォルダの命名方法を設定します。 | p.136 |
| USB接続 | USBケーブルの接続先（パソコンまたはプリンター）を設定します。 | p.137 |
| ビデオ出力 | AV機器へのビデオ出力形式を設定します。 | p.138 |
| オートディマー | オンにすると周囲の明るさに応じて液晶モニターの明るさを自動調整します。 | p.139 |
| オートパワーオフ | 自動的に電源が切れるまでの時間を設定します。 | p.140 |
| クイック拡大 | 静止画再生中にズーム/ /ボタンのを一度押すだけで、画面を最大倍率に拡大するように設定します。 | p.97 |
| リセット | 日時、言語、ビデオ出力以外の設定内容をご購入時の状態に戻します。 | p.141 |

## 撮影モードを設定する

Optio M10には、多彩な撮影モードが用意されており、撮影モードパレットで撮影するシーンに合った撮影モードを選ぶだけで手軽にぴったりの雰囲気の写真の撮影、動画の記録、音声の録音ができます。

### 1 Aモードで十字キー（▼）を押す

撮影モードパレットが表示されます。

### 2 十字キー（▲▼◀▶）で撮影モードを選択する

撮影モードの選択中にグリーンボタンを押すと、その撮影モードの説明を表示することができます。（p.56）

### 3 OKボタンを押す

撮影モードが選択され、撮影できる状態になります。

- P、C、O以外の撮影モードでは、ストロボ発光の有無、ピント位置、彩度、コントラスト、シャープネス、ホワイトバランスなどが自動的に各モードに最適な値に設定されています。
- 撮影モードによっては、一部の機能が設定できなかったり、設定できても動作に反映されない場合があります。詳しくは、「撮影モードごとの使える機能／使えない機能」（p.145）をご確認ください。
- フォーカスモードを**MF**に設定しているときは、十字キー（▼）を押しても、撮影モードパレットは表示されません。

撮影モードには、次の15のモードがあります。

① Ⓟプログラム
一般的な撮影に適しています。さまざまな機能を設定して撮影することもできます。（p.57）

② 夜景
夜景撮影に最適です。三脚などで固定して撮影してください。人物も入る場合はストロボを発光させてください。（p.60）

③ 動画
動画を撮影するときに設定します。音声も同時に記録されます。（p.88）

④ ボイスレコーディング
音声を記録するときに設定します。カメラ下部のマイクを手でふさがないように注意してください。（p.124）

⑤ SOFT ソフト
輪郭をぼかした柔らかな描写で撮影します。

⑥ 風景
風景の撮影に適しています。広い範囲にピントが合うようになっています。

⑦ 花
花をきれいに撮影するのに適しています。花の輪郭を柔らかめに表現します。

### ⑧ ポートレート

人物を撮影するのに適しています。肌色を明るく健康的に仕上げます。

### ⑨ サーフ＆スノー

砂浜や雪山など、背景の明るい場所での写真をきれいに仕上げます。

### ⑩ スポーツ

動きの速いものを撮影するのに最適です。シャッターを切るまで動くものにフォーカスを合わせ続けます。

### ⑪ キッズ

動きの多い子供を撮影するのに適しています。肌色を明るく健康的に仕上げます。

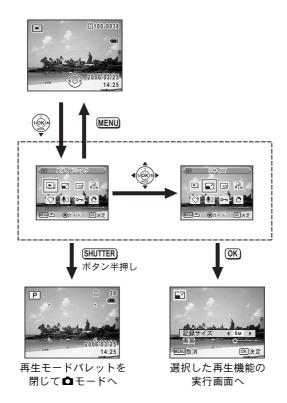
### ⑫ ペット

ペットを撮影するのに最適です。シャッターを切るまで動き回るペットにフォーカスを合わせ続けます。ペットの毛色に合わせた撮影をすることもできます。（p.61）

### ⑬ 花火

花火をきれいに撮影します。シャッター速度が4秒に固定されますので三脚などで固定して撮影してください。（p.60）

⑭ **料理**

料理の撮影に適しています。彩度をやや高めにし、色鮮やかに仕上げます。

⑮ **セルフポートレート**

自分撮りやツーショット写真に適しています。フォーカスと色調整をしています。

## 再生モードを設定する

再生中に十字キー（▼）を押すと再生モードパレットが表示されます。十字キー（▲▼◀▶）を使ってアイコンを選び、**OK** ボタンを押すだけで、使用したい再生機能を呼び出すことができます。

再生モードパレットを閉じて📷モードへ

選択した再生機能の実行画面へ

### 再生モードパレット一覧

| 項目 | | 内容 | 参照 |
|---|---|---|---|
| ▶ | スライドショウ | 保存された画像を連続して再生します。 | p.99 |
| | リサイズ | 画像の記録サイズと画質を変更します。 | p.110 |
| | トリミング | 画像周囲の不要な部分をカットします。 | p.112 |
| | 画像/音声コピー | 内蔵メモリーとSDメモリーカード間で画像や音声をコピーします。 | p.113 |
| | 画像回転 | 撮影した静止画を回転表示します。 | p.41 |
| | ボイスメモ | 撮影した静止画に音声（ボイスメモ）を付けます。 | p.127 |
| | プロテクト | 画像や音声を誤って消去しないようにプロテクト（保護）します。 | p.108 |
| DPOF | DPOF | 撮影した静止画にDPOF設定をします。 | p.115 |



## 撮影／再生モードの説明を見る

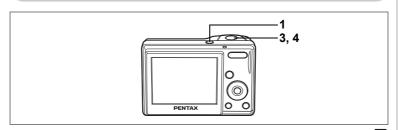
撮影モードパレットや再生モードパレットでモードを選択中にグリーンボタンを押すと、その選択項目の説明が表示されます。

**1 モードで十字キー（▼）を押す**

撮影モードパレットが表示されます。
▶モードで十字キー（▼）を押すと、再生モードパレットが表示されます。

**2 十字キー（▲▼◀▶）で撮影モードを選択する**

**3 グリーンボタンを押す**

選択中の撮影モードの説明が表示されます。

**4 OK ボタンを押す**

選択した撮影モードで撮影できる状態になります。

説明文が表示されているときにグリーンボタンを押すと、撮影モードパレットや再生モードパレットに戻ります。

# 撮影する

P

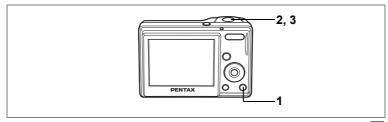
## カメラまかせで撮影する（プログラムモード）

P（プログラムモード）では、シャッター速度と絞り値をカメラが自動的に設定して撮影します。ストロボの発光方式や記録サイズなどその他の機能は自由に設定できます。

**1 電源スイッチを押す**

電源がオンになり、静止画が撮影できる状態になります。

**2 必要に応じて使用する機能を設定する**

機能の設定のしかたは、「撮影のための機能を設定する」(p.71〜p.85) をご覧ください。

**3 シャッターボタンを半押しする**

ピントが合うと、液晶モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。

**4 シャッターボタンを全押しする**

撮影されます。

メモ

P モード以外の撮影モードが選択されているときは、撮影モードパレットでPモードを選択します。(p.51)

静止画を撮影する ☞p.38

## 簡単撮影モードで撮影する（グリーンモード）

グリーンモードでは、「撮影」メニューの設定に関係なく、標準設定（※）で手軽に撮影を楽しめます。

### 1　モードでグリーンボタンを押す

グリーンモードに切り替わります。
もう1回グリーンボタンを押すと、グリーンモードに入る前の撮影モードに戻ります。

キーロック表示

### 2　シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、液晶モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。

### 3　シャッターボタンを全押しする

撮影されます。

- グリーンモードでは、**OK/DISPLAY** ボタンを押して情報表示を切り替えることはできません。
- グリーンモードでは、「撮影」メニューや撮影モードパレットを使用できません。「撮影」メニューや撮影モードパレットを表示させようとすると（キーロック表示）が表示されます。
- グリーンモードからモードに移行した場合、**MENU**ボタンを押しても、「設定」メニューを表示できません。「設定」メニューを表示させようとすると（キーロック表示）が表示されます。
- 撮影モードをグリーンモードにしたまま電源をオフにすると、次回もグリーンモードで起動します。

※ グリーンモードでの設定値は、以下のとおりです。

| ストロボモード | ⚡A（オート） |
|---|---|
| ドライブモード | □（標準） |
| フォーカスモード | AF（標準） |
| 情報表示 | 標準 |
| 記録サイズ | 6M（フレーム合成時のみ 3M） |
| 画質 | ★★（ファイン） |
| ホワイトバランス | AWB（オート） |
| AFエリア | [ ]（マルチ） |
| 感度 | オート |
| 露出補正 | ±0.0 |
| デジタルズーム | ☑（オン） |
| クイックビュー | 1秒 |
| シャープネス | -・+（標準） |
| 彩度 | -・+（標準） |
| コントラスト | -・+（標準） |

## 暗いシーンを撮影する（夜景／花火モード）

夜景など暗いシーンを撮影するのに適切な設定にセットされます。

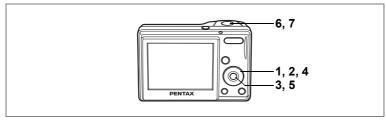
| | |
|---|---|
| (夜景) | 夜景を撮影するときに使います。 |
| (花火) | 花火をきれいに撮影します。 |

**1 モードで十字キー（▼）を押す**

撮影モードパレットが表示されます。

**2 十字キー（▲▼◀▶）で、（夜景）または（花火）を選ぶ**

**3 OKボタンを押す**

撮影モードが選択され、撮影できる状態になります。

**4 シャッターボタンを半押しする**

ピントが合うと、液晶モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。

**5 シャッターボタンを全押しする**

撮影されます。

- 暗いシーンでの撮影ではシャッター速度が遅くなります。
- 手ぶれを防ぐには、三脚とセルフタイマーを使っての撮影が有効です。（p.62）
- では、感度は64、フォーカスモードは▲、ストロボモードはに固定されます。また、シャッター速度は4秒、絞り値は開放絞りに固定され、露出補正はできません。

（）

## ペットを撮影する（ペットモード）

ペットモードでは、動き回るペットにフォーカスを合わせ続け、ペットの毛色を活かしてきれいに写すことができます。撮りたいペットの毛色が白っぽいか、黒っぽいか、中間の色かでアイコンの色を選択してください。

**1　モードで十字キー（▼）を押す**

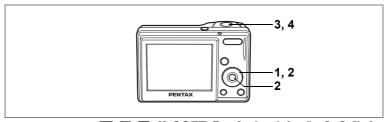
撮影モードパレットが表示されます。

**2　十字キー（▲▼◀▶）で（ペット）を選ぶ**

**3　OKボタンを押す**

ペットモードの選択画面が表示されます。

**4　十字キー（▲▼）でを選ぶ**

ペットアイコンには犬柄と猫柄の2タイプがあります。
（犬アイコンと猫アイコンは絵柄が違うだけで、撮影結果に与える効果は同じです。お好みで使い分けてください。）

**5　OKボタンを押す**

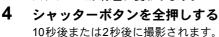
ペットモードが選択され、撮影できる状態になります。

**6　シャッターボタンを半押しする**

ピントが合うと、液晶モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。

**7　シャッターボタンを全押しする**

撮影されます。

4 撮影

## セルフタイマーを使って撮影する

シャッターボタンを押してから、10秒または2秒後に撮影されます。セルフタイマーを使って撮影するときは、カメラを三脚等に固定してください。

| | |
|---|---|
| ⏲ | 撮影者も含めて集合写真を撮る場合などに利用できます。<br>シャッターボタンを押してから約10 秒後に撮影されます。 |
| ⏲2s | シャッターボタンを押してから2秒後に撮影されますので、手ぶれを避けるために利用できます。 |

### 1 📷モードで十字キー（▲）を押す

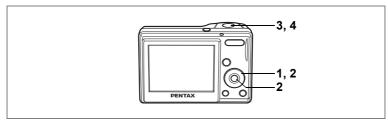
### 2 十字キー（◀ ▶ ▼）を押して、⏲ または⏲2sを選択し、OK ボタンを押す

セルフタイマーを使って撮影できる状態になります。

### 3 シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、液晶モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。

### 4 シャッターボタンを全押しする

10秒後または2秒後に撮影されます。

静止画撮影の場合、セルフタイマーランプの点滅中に構図を変えると、ピントが合わなくなります。

- 🎥モードでは、10秒（または2秒）後に動画撮影が始まります。
- カウントダウン中にシャッターボタンを半押しするとカウントダウンを中止し、全押しするとカウントダウンをやり直します。
- ⏲2sは🙂の初期設定では選べません。ただし、他の撮影モードで⏲2sを選んでから、撮影モードを🙂に切り替えると、選べるようになります。

4
撮影

# 連続して撮影する

シャッターボタンを押している間、連続して撮影します。

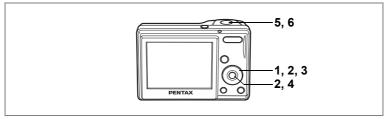
| | | |
|---|---|---|
| | 連続撮影 | 1枚撮影するごとに、画像をメモリーに書き込み、続いて次の静止画を撮影します。高画質の画像ほど、撮影間隔が長くなります。 |

**1　モードで十字キー（▲）を押す**

**2　十字キー（◀▶）で （連続撮影）を選び、OKボタンを押す**

連続撮影できる状態になります。

**3　シャッターボタンを半押しする**

ピントが合うと、液晶モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。

**4　シャッターボタンを全押しする**

シャッターボタンを押し続けている間、連続して写真が撮影されます。

- 連続撮影では、ストロボは発光しません。
- 、、、、SOFT、モードでは、連続撮影はできません。

- SDメモリーカードまたは内蔵メモリーがいっぱいになるまで、連続撮影できます。
- 連続撮影の間隔は、記録サイズや画質の設定によって異なります。
- ピント、露出、ホワイトバランスは、1枚目で固定されます。

SOFT

## フレーム撮影をする

カメラ内に保存されているフレームに合わせて撮影することができます。あらかじめ3種類のフレームが登録されています。

**1　モードで十字キー（▲）を押す**

ドライブモードを選択する画面が表示されます。

**2　十字キー（◀▶）で（フレーム合成）を選び、OKボタンを押す**

フレームの選択画面が表示されます。

**3　十字キー（◀▶）で使用するフレームを選ぶ**

**4　OKボタンを押す**

フレーム付きの撮影画面が表示されます。

**5　シャッターボタンを半押しする**

ピントが合うと、液晶モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。

4
撮影

## 6 シャッターボタンを全押しする

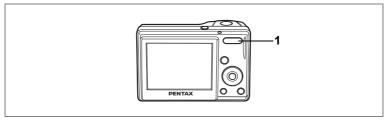
撮影されます。

- フレーム撮影機能は、🎥、🎤モードでは使用できません。
- フレーム選択画面でMENUボタンを押すと、「📷撮影」メニューが表示されます。
- フレーム撮影の記録サイズは3Mに、画質は★★に固定されます。

## 新しく入手したフレームを登録する

手順3でグリーンボタンを押すと、フレーム登録画面に切り替わり、ホームページなどから入手したフレームを使用できます。内蔵メモリー内の3つのフレームと置き換えて使用できます。新しく入手したフレームを使用するには、あらかじめSDメモリーカードにコピーしておきます。

SDメモリーカード内のフレームを登録すると、内蔵メモリーに登録されているフレームと置き換わり、内蔵メモリー内のフレームは削除されます。

## 1 フレームを選択する画面で、置き換えたいフレームを選び、グリーンボタンを押す

メッセージが表示された後、SDメモリーカード内の使用できるフレームが表示されます。

## 2 十字キー（◀▶）で登録するフレームを選び、OK ボタンを押す

表示されているフレームの代わりに、選択したフレームが登録されます。

新しいフレームは、弊社ホームページの下記ＵＲＬアドレスからダウンロードできます。

**http://www.pentax.co.jp/japan/support/download/digital/frame_01.html**

## ズームを使って撮影する

ズーム機能を使って、写る範囲を変えて撮影できます。

### 1 モードでズーム/ボタンを押す

望遠：被写体を拡大して写す

広角：被写体を広い範囲で写す

ズームバーで現在の拡大状況が確認できます。

ズームバー

光学ズーム領域　デジタルズーム領域

デジタルズーム機能が□（オフ）のときは、3倍までの光学ズーム撮影となります。デジタルズーム機能が☑（オン）のときは、光学ズームと合わせて最大約12倍相当まで拡大して撮影できます。

- 高倍率の撮影では、手ぶれを防止するため三脚などのご利用をおすすめします。
- デジタルズーム領域で撮影すると、光学ズーム領域で撮影したときよりも画像の細密さが低下します。

4 撮影

## デジタルズーム機能を設定する

初期設定では、デジタルズームは☑（オン）に設定されています。光学ズーム領域だけを使って撮影したい場合は、□（オフ）に設定します。

**1 📷モードでMENUボタンを押す**

「📷撮影」メニューが表示されます。

**2 十字キー（▲▼）を押して「デジタルズーム」を選ぶ**

**3 十字キー（◀▶）で☑（オン）と□（オフ）を切り替える**

選んだ設定で保存されます。

**4 MENUボタンを押す**

設定を終了して、撮影できる状態になります。

デジタルズーム機能の設定を保存する ☞p.86

P SOFT

## 露出を補正する

撮影する画像全体の明るさを調整します。
意図的に露出をオーバー（明るく）やアンダー（暗く）にして撮影する際に利用します。

**1　モードでMENUボタンを押す**

「撮影」メニューが表示されます。

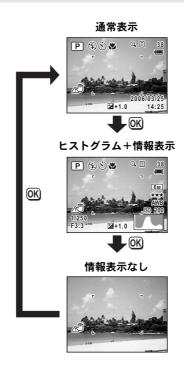
**2　十字キー（▲▼）を押して「露出補正」を選ぶ**

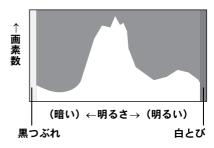
**3　十字キー（◀▶）を押して、補正量を選ぶ**

選んだ補正量で保存されます。
明るくする場合は+側に、暗くする場合は–側に設定します。
露出補正の値は、–2.0EV～+2.0EVの範囲を1/3EV単位で選択できます。

**4　MENUボタンを押す**

設定を終了して、撮影できる状態になります。

メモ　ヒストグラムを表示すると、液晶モニター上に白とび、黒つぶれ個所が表示され、露出が適切かどうかを確認できます。（p.70）

露出補正値を保存する ☞p.86

# 撮影情報を確認する

**OK/DISPLAY** ボタンを押すたびに、液晶モニターの表示が「通常表示」「ヒストグラム＋情報表示」「情報表示なし」に切り替わります。
表示内容の詳細は、「画面の表示」（p.16）をご覧ください。

手ぶれしやすい条件のとき、が表示されます。手ぶれを防ぐには、三脚とセルフタイマーを使っての撮影が有効です。（p.62）

4
撮影

## ヒストグラムを使う

ヒストグラムとは、画像の明るさの分布を表したグラフです。横軸は明るさ（左端は黒、右端は白）を、縦軸は各明るさごとの画素数を示します。
撮影前や撮影後にヒストグラムの形状を見ることで、画像の明るさと明暗差が適正かどうかを確認し、露出補正や撮り直しの判断にご利用いただけます。

露出を補正する ☞p.68

### 画像の明るさを見る

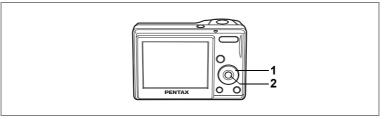
画像の明るさが適正な画像では、グラフの山は中央にあります。しかし、暗い画像ではグラフの山は左側に偏り、明るい画像では右側に偏ります。

暗い画像

適正な明るさの画像

明るい画像

また、画像の中で、暗過ぎてヒストグラムの左端よりも左に来てしまう部分は真っ黒になり（黒つぶれ）、明る過ぎてヒストグラムの右端よりも右に来てしまう部分は真っ白になってしまいます（白とび）。
Optio M10には、黒つぶれ部分を黄色く、白とび部分を赤く点滅表示させる機能があります。

撮影情報を確認する ☞p.69
撮影時の情報を表示する ☞p.98

### 明暗差のバランスを見る

明暗差のバランスが取れた画像では、グラフの中央部になだらかな山のピークが来ます。しかし、明暗差が激しく、中間的な明るさの部分が少ない画像では、左右に山のピークが来て、中央部分がくぼんだグラフになります。

## ピントの合わせ方を選ぶ（フォーカスモード）

### フォーカスモード

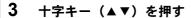
| | | |
|---|---|---|
| AF | 標準 | 被写体までの距離が40cm以上のときに使用します。シャッターボタンを半押ししたときに、AFエリアにあるものにピントを合わせます。 |
| 🌷 | マクロ | 被写体までの距離が約10cm～約60cmのときに使用します。シャッターボタンを半押ししたときに、AFエリアにあるものにピントを合わせます。 |
| ▲ | 無限遠 | 遠くにあるものを撮影するときに使用します。ストロボは⚡（発光禁止）となります。 |
| MF | マニュアルフォーカス | 手動でピントを合わせます。 |

**1 📷モードで十字キー（▶）を押す**

押すたびにフォーカスモードが切り替わります。十字キー（▲▼）でも切り替えられます。

**2 OKボタンを押す**

フォーカスモードが保存され、撮影できる状態になります。

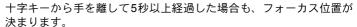
- ◎モードでは、フォーカスモードは▲に固定されます。
- モードでは、AFと🌷のみ選択できます。

手動でピントを合わせる（マニュアルフォーカス）☞p.72
フォーカスモードを保存する ☞p.86

## 手動でピントを合わせる（マニュアルフォーカス）

**MF**での設定方法を説明します。

**1　📷モードで十字キー（▶）を押す**

**2　十字キー（▶）を押してMFを選び、OKボタンを押す**

ピント合わせ中は、画面中央部が液晶モニターいっぱいに拡大して表示されます。

**3　十字キー（▲▼）を押す**

液晶モニターに**MF**バーが表示され、おおよその距離が表示されます。これを目安に十字キー（▲▼）でピントを合わせます。

▲　：遠くにピントが合う

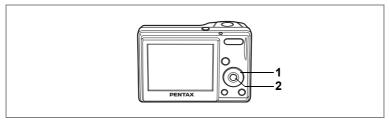
▼　：近くにピントが合う

**MF**バー

**4　OKボタンを押す**

フォーカス位置が決まり、撮影できる状態になります。

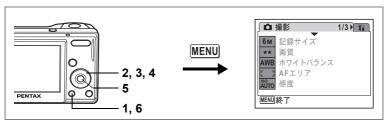
十字キーから手を離して5秒以上経過した場合も、フォーカス位置が決まります。

フォーカス位置を決定させた後、もう一度十字キー（▲▼）を押すと、**MF**バーが表示され、ピントを合わせ直すことができます。

**MF**調整中は、撮影モードやドライブモードを変更できません。

SOFT

# ストロボの発光方法を選択する

## ストロボの発光方法

| | | |
|---|---|---|
| ⚡A | オート | 暗いときや逆光のときにストロボを発光します。 |
| ⊘ | 発光禁止 | 暗いときや逆光のときでも発光しません。ストロボの使えない場所での撮影にご利用ください。 |
| ⚡ | 強制発光 | 明るさにかかわらず、常にストロボを発光します。 |
| 👁A | オート＋赤目 | ストロボの光が目に反射して赤く写るのを軽減します。自動的にストロボを発光します。 |
| 👁⚡ | 強制＋赤目 | ストロボの光が目に反射して赤く写るのを軽減します。常にストロボを発光します。 |

- 撮影モードが 、 、ドライブモードが 、フォーカスモードが▲に設定されているときは、常に⊘（発光禁止）になります。
- 赤目軽減機能を使用した場合は、本発光の前にプリ発光（予備発光）を行います。
- モードでは、⚡Aと⊘のみ選択できます。

## 1 モードで十字キー（◀）を押す

押すたびに発光方法が切り替わります。十字キー（▲▼）でも切り替えられます。

## 2 OKボタンを押す

選択したストロボ発光方法で撮影ができる状態になります。

4 撮影

[ストロボ撮影の赤目現象について]

ストロボ撮影で人物の目が赤く写ることがあります。これは、目の網膜にストロボの光が反射して発生する現象です。赤目現象は、人物の周りを明るくしたり、撮影距離を近くして広角側で撮影すると、発生しにくくなります。また、ストロボの発光方法を（オート＋赤目）や（強制＋赤目）にするのも有効です。

ストロボ発光方法を保存する ☞p.86

# 記録サイズを選択する

静止画像の記録サイズ（記録画素数）を7種類から選べます。
記録サイズが大きいほど、プリントしたときに、より鮮明な画像が得られます。ただし、写真のきれいさには画質や露出制御、使用するプリンターの解像度なども関係してきますので、むやみに大きくする必要はありません。はがきサイズにプリントする場合は、2M（1600×1200）程度が目安となります。記録サイズが大きくなるほど、画像が大きくなり容量も増えます。ただし、画像の容量は画質の設定（p.77）によっても異なります。

**記録サイズ**

| 記録サイズ | 用途 | |
|---|---|---|
| 6M 2816×2112 | ↑ | フォトプリントなどの高画質印刷、A4以上の大判プリント、画像編集などの加工用など |
| 5M 2560×1920 | | |
| 4M 2304×1728 | 鮮明、きれい | |
| 3M 2048×1536 | | |
| 2M 1600×1200 | | はがきサイズプリントなど |
| 1024 1024× 768 | | |
| 640 640× 480 | | ホームページ掲載、電子メール添付など |

## 1 モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

## 2 十字キー（▲▼）を押して「記録サイズ」を選ぶ

4 撮影

## 3 十字キー（▶）を押す

ポップアップが表示されます。

## 4 十字キー（▲▼）で記録サイズを切り替える

## 5 OKボタンを押す

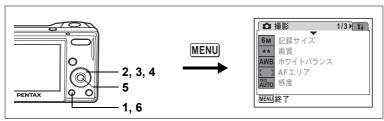
記録サイズの設定が保存されます。

## 6 MENUボタンを押す

設定した内容で、撮影できる状態になります。

ドライブモードが[♥]に設定されているときは、記録サイズは[3M]、画質は★★に固定されます。

静止画の記録サイズと画質 ☞p.29

P SOFT

# 画質を選択する

静止画像の画質（圧縮率）が選べます。
★の数が多いほど、圧縮率は低くなり、画像はきれいになりますが、容量も増えます。ただし、画像の容量は、記録サイズの設定（p.75）によっても異なります。

**画質**

| ★★★ | S.ファイン | 圧縮率が最も低く、写真用のプリントなどに適しています。 |
|---|---|---|
| ★★ | ファイン | 圧縮率が標準で、パソコンの画面で画像を見るときに適しています。 |
| ★ | エコノミー | 圧縮率が最も高く、電子メールへの添付やホームページ掲載用に適しています。 |

## 1 モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

## 2 十字キー（▲▼）を押して「画質」を選ぶ

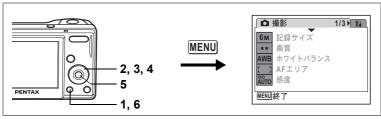
## 3 十字キー（▶）を押す

ポップアップが表示されます。

## 4 十字キー（▲▼）で画質を切り替える

## 5 OKボタンを押す

画質の設定が保存されます。

## 6 MENUボタンを押す

設定した内容で、撮影できる状態になります。

ドライブモードがに設定されているときは、画質は★★に固定されます。

静止画の記録サイズと画質 ☞p.29

# ホワイトバランスを調整する

撮影時の光の状態に応じて画像を自然な色合いに調整する度合いを設定します。

### ホワイトバランス

| AWB | オート | 調整をカメラにまかせます。 |
|---|---|---|
| ☼ | 太陽光 | 太陽の下で撮影するときに設定します。 |
| ☁ | 曇天 | 曇りの状態で撮影するときに設定します。 |
| | 白熱灯 | 電球など白熱灯で照明されたものを撮影するときに設定します。 |
| | 蛍光灯 | 蛍光灯で照明されたものを撮影するときに設定します。 |
| | マニュアル | 手動で調整して撮影するときに設定します。 |

**1 モードでMENUボタンを押す**

「撮影」メニューが表示されます。

**2 十字キー（▲▼）を押して「ホワイトバランス」を選ぶ**

**3 十字キー（▶）を押す**

「ホワイトバランス」画面が表示されます。

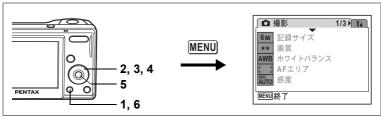
**4 十字キー（▲▼）で設定を選ぶ**

**5 OKボタンを押す**

ホワイトバランスの設定が保存されます。

**6 MENUボタンを押す**

設定した内容で、撮影できる状態になります。
マニュアルで設定する場合は、p.79をご覧ください。

ホワイトバランスを保存する ☞p.86

## マニュアルで設定する

あらかじめ、白い紙などホワイトバランスの調整に用いる素材を用意しておきます。

**1 「ホワイトバランス」画面で十字キー（▲▼）を押して ⊒（マニュアル）を選ぶ**

**2 ホワイトバランスの調整に用いる素材（白い紙など）にレンズを向け、液晶モニター画面いっぱいに素材が入るよう、カメラを構える**

**3 シャッターボタンを全押しする**

ホワイトバランスが自動的に調整されます。

**4 OKボタンを押す**

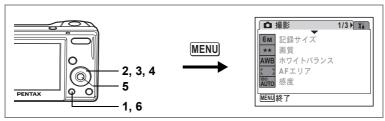
今行った設定が保存され、「📷撮影」メニューに戻ります。

**5 MENUボタンを押す**

撮影できる状態になります。

4 撮影

P SOFT

## オートフォーカス範囲を設定する（AFエリア）

オートフォーカスの対象となる範囲（AFエリア）を設定します。

**AFエリア**

| | | |
|---|---|---|
| [ ] | マルチ | 通常範囲に設定します。 |
| [] | スポット | フォーカスが合う範囲を狭くします。 |
| | 自動追尾 | 動き回る被写体にフォーカスを合わせ続けます。 |

### 1 モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

### 2 十字キー（▲▼）を押して「AFエリア」を選ぶ

### 3 十字キー（▶）を押す

ポップアップが表示されます。

### 4 十字キー（▲▼）でAFエリアを切り替える

### 5 OKボタンを押す

AFエリアの設定が保存されます。

### 6 MENUボタンを押す

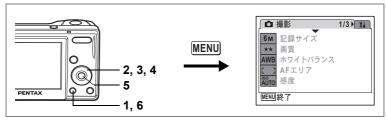
設定した内容で、撮影できる状態になります。

P SOFT

# 感度を設定する

撮影する場所の明るさに応じて、感度を設定することができます。

**感度**

| オート | 64～200までの間で自動調整されます。 |
|---|---|
| 64 | • 感度が低い（数字が小さい）ほど、ノイズの少ない画像が得られます。暗い場所ではシャッター速度が遅くなります。<br>• 感度が高い（数字が大きい）ほど、暗い場所でもシャッター速度を早くできます。画像にはノイズが増えます。 |
| 100 | |
| 200 | |
| 400 | |

## 1 モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

## 2 十字キー（▲▼）を押して「感度」を選ぶ

## 3 十字キー（▶）を押す

ポップアップが表示されます。

## 4 十字キー（▲▼）で感度を選ぶ

## 5 OKボタンを押す

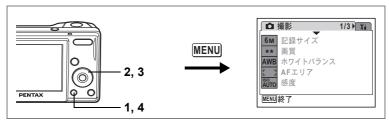
感度の設定が保存されます。

## 6 MENUボタンを押す

設定した内容で、撮影できる状態になります。

撮影モードがに設定されているときは、64に固定されます。それ以外の感度には変更できません。

感度を保存する ☞p.86

P SOFT

## クイックビューの時間を設定する

クイックビュー（撮影直後の画像表示）の時間を0.5秒、1秒、2秒、3秒、5秒、オフ（表示しない）から選びます。

**1　モードでMENUボタンを押す**

「撮影」メニューが表示されます。

**2　十字キー（▲▼）を押して「クイックビュー」を選ぶ**

**3　十字キー（▶）を押す**

ポップアップが表示されます。

**4　十字キー（▲▼）で表示時間を選ぶ**

**5　OKボタンを押す**

クイックビューの設定が保存されます。

**6　MENUボタンを押す**

設定した内容で、撮影できる状態になります。

クイックビュー ☞p.39

4 撮影

P 🎥

## シャープネスを設定する

画像の輪郭をハードまたはソフトにします。

**1　📷モードでMENUボタンを押す**

「📷撮影」メニューが表示されます。

**2　十字キー（▲▼）を押して「シャープネス」を選ぶ**

**3　十字キー（◀▶）でシャープネスの強さを切り替える**

下記の設定で保存されます。

（ソフト）
（標準）
（ハード）

**4　MENUボタンを押す**

保存されたシャープネスで、撮影できる状態になります。

## 彩度を設定する

色の鮮やかさを設定します。

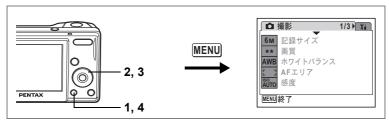
**1　◘モードでMENUボタンを押す**

「◘撮影」メニューが表示されます。

**2　十字キー（▲▼）を押して「彩度」を選ぶ**

**3　十字キー（◀▶）で彩度の高さを切り替える**

下記の設定で保存されます。

- （低）
- （標準）
- （高）

**4　MENUボタンを押す**

保存された彩度で、撮影できる状態になります。

## コントラストを設定する

画像の明暗差の度合いを設定します。

**1　モードでMENUボタンを押す**

「撮影」メニューが表示されます。

**2　十字キー（▲▼）を押して「コントラスト」を選ぶ**

**3　十字キー（◀▶）でコントラストの高さを切り替える**

下記の設定で保存されます。

（低）
（標準）
（高）

**4　MENUボタンを押す**

保存されたコントラストで、撮影できる状態になります。

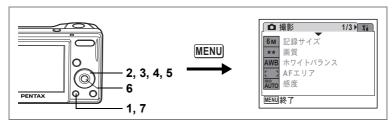
4
撮影

# 設定を保存する（モードメモリ）

カメラの電源をオフにしても、カメラの諸設定を維持する機能を「モードメモリ」と呼びます。
撮影のための設定には、モードメモリが常に☑（オン）のもの（電源をオフにしても常に設定を維持するもの）と、モードメモリのオン／オフが選べるもの（電源をオフにしたときに設定を維持するかどうかを選べるもの）があります。モードメモリのオン／オフが選べる項目を表に示します。（ここに示した以外の項目は、電源をオフにしても常に設定が保存されます）☑（オン）を選ぶと、電源オフ直前の設定状態をメモリーします。□（オフ）を選ぶと、電源をオフにしたときにその項目の設定がご購入時の状態に戻ります。表では、モードメモリの初期設定がオンの状態なのか、オフの状態なのかも示しています。

| 項目 | 内容 | 初期設定 |
|---|---|---|
| ストロボモード | 十字キー（◀）で設定したストロボモード（p.73） | ☑ |
| ドライブモード | 十字キー（▲）で設定したドライブモード（p.62、p.63、p.64） | □ |
| フォーカスモード | 十字キー（▶）で設定したフォーカスモード（p.71） | □ |
| ズーム位置 | ズーム/♠♠♠/♠ボタンで設定したズーム位置（p.66） | □ |
| MF位置 | 十字キー（▲▼）で設定したマニュアルフォーカスでのピントの合う距離（p.72） | □ |
| ホワイトバランス | 「📷撮影」メニューの「ホワイトバランス」での設定（p.78） | □ |
| 感度 | 「📷撮影」メニューの「感度」で設定した値（p.81） | □ |
| 露出補正 | 「📷撮影」メニューの「露出補正」で設定した値（p.68） | □ |
| デジタルズーム | 「📷撮影」メニューの「デジタルズーム」での設定（p.67） | ☑ |
| DISPLAY | **OK/DISPLAY** ボタンで設定した液晶モニターの情報表示状態（p.69、p.98） | □ |
| ファイルNo. | オンにすると、SDメモリーカードを入れ替えた場合でも連続したファイル番号を使用 | ☑ |

## 1 モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

## 2 十字キー（▲▼）を押して「モードメモリ」を選ぶ

## 3 十字キー（▶）を押す

「モードメモリ」画面が表示されます。

## 4 十字キー（▲▼）で項目を選ぶ

## 5 十字キー（◀▶）で☑（オン）／□（オフ）を切り替える

## 6 OKボタンを押す

モードメモリの設定が保存されます。

## 7 MENUボタンを押す

設定した内容で、撮影できる状態になります。

4

撮影

# 動画を撮影する

🎥

## 動画を撮影する

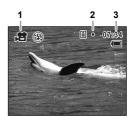


動画を撮影します。音声も同時に記録されます。

**1　📷モードで十字キー（▼）を押す**

撮影モードパレットが表示されます。

**2　十字キー（▲▼◀▶）で🎥（動画）を選ぶ**

**3　OKボタンを押す**

🎥モードが選択され、撮影できる状態になります。

液晶モニターに次の情報が表示されます。

**1** 動画モードアイコン
**2** 録画中アイコン（録画中に点滅）
**3** 撮影可能時間

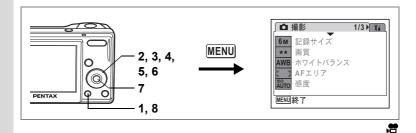
ズーム/🌲🌲🌲/🌲ボタンを左右に押すと、被写体の写る範囲が変わります。

🌲　：被写体を拡大して写す

🌲🌲🌲：被写体を広い範囲で写す

## 4 シャッターボタンを全押しする

撮影が開始されます。

- 🎥モードでは、ストロボは発光しません。
- 🎥モードで撮影中は、ピントが固定になります。
- 撮影開始前は光学ズームとデジタルズームが、撮影中はデジタルズームのみが使用できます。
- 動画撮影中は、**OK**/**DISPLAY** ボタンを使って液晶モニターの表示を切り替えても、ヒストグラムは表示されません。

## 5 シャッターボタンを全押しする

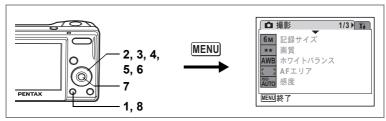
撮影が終了します。

動画を再生する ☞p.101

### シャッターボタンを押し続けて撮影する

シャッターボタンを1秒以上押し続けると、シャッターボタンを押し続けている時間だけ撮影されます。シャッターボタンから指を離すと撮影が終了します。

## 動画の記録サイズを選択する

動画の記録サイズを「320 320×240」、「160 160×120」から選べます。記録サイズが大きくなるほど、ファイルの容量も増えます。画像の容量はフレームレートの設定によっても異なります。(p.31)

### 動画の記録サイズ

| | |
|---|---|
| 320 (320×240) | パソコンの画面で見るのに適しています。 |
| 160 (160×120) | ファイルサイズは小さくなりますが、記録時間は長くなります。電子メールやホームページでの公開に適しています。 |

**1 モードでMENUボタンを押す**

「撮影」メニューが表示されます。

**2 十字キー（▲▼）を押して「動画」を選ぶ**

**3 十字キー（▶）を押す**

「動画」画面が表示されます。

**4 十字キー（▲▼）で「記録サイズ」を選ぶ**

**5 十字キー（▶）を押す**

ポップアップが表示されます。

**6 十字キー（▲▼）で記録サイズを切り替える**

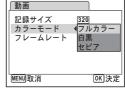
**7 OKボタンを押す**

記録サイズの設定が保存されます。

**8 MENUボタンを2回押す**

設定した内容で、撮影できる状態になります。

動画の記録サイズとフレームレート ☞p.31

4 撮影

## 白黒やセピア色で動画を撮影する（カラーモード）

動画撮影時には、カラーモードとして、「フルカラー」のほかに「白黒」と「セピア」が選べます。

**1 モードでMENUボタンを押す**

「撮影」メニューが表示されます。

**2 十字キー（▲▼）を押して「動画」を選ぶ**

**3 十字キー（▶）を押す**

「動画」画面が表示されます。

**4 十字キー（▲▼）で「カラーモード」を選ぶ**

**5 十字キー（▶）を押す**

ポップアップが表示されます。

**6 十字キー（▲▼）で色を選ぶ**

**7 OKボタンを押す**

カラーモードの設定が保存されます。

**8 MENUボタンを2回押す**

設定した内容で、撮影できる状態になります。

撮影後の動画の「カラーモード」は、変更できません。

## フレームレートを選択する

動画のフレームレート（1秒間に撮る画面数）は、「30fps（フレーム／秒）」「15fps（フレーム／秒）」から選べます。「フレームレート」が大きいほど滑らかな動きになりますが、ファイルサイズが増えます。

**1 モードでMENUボタンを押す**

「撮影」メニューが表示されます。

**2 十字キー（▲▼）を押して「動画」を選ぶ**

**3 十字キー（▶）を押す**

「動画」画面が表示されます。

**4 十字キー（▲▼）で「フレームレート」を選ぶ**

**5 十字キー（▶）を押す**

ポップアップが表示されます。

**6 十字キー（▲▼）で「30fps」と「15fps」を切り替える**

**7 OKボタンを押す**

フレームレートの設定が保存されます。

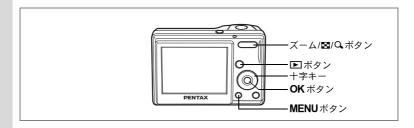
**8 MENUボタンを2回押す**

設定した内容で、撮影できる状態になります。

動画の記録サイズとフレームレート ☞p.31

# 再生する

## 📷モードと▶モードの切り替え

本書では、静止画の撮影など記録を行うモードを「📷モード」と表記します。また、撮影して記録した画像を液晶モニターに表示するなど再生を行うモードを「▶モード」と表記します。▶モードでは、再生した画像に簡単な画像処理を加えることもできます。
📷モードと▶モードの切り替えは、次のように行います。

### 📷モードから▶モードへ切り替える

**1　▶ボタンを押す**

▶モードに切り替わります。

### ▶モードから📷モードへ切り替える

**1　▶ボタンを押す、またはシャッターボタンを半押しする**

📷モードに切り替わります。

## 静止画を再生する

操作方法は「画像を再生する」(p.40)をご覧ください。

## 9画面表示、フォルダ表示をする

### 9画面表示

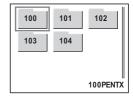
撮った画像を液晶モニターに同時に9ファイルずつ表示できます。

**1　▶モードで、ズーム/⊞/🔍ボタンの⊞を押す**

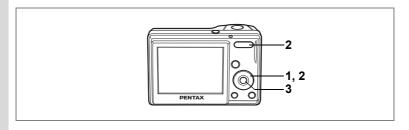
画像が9コマで1ページとなるように表示され、ページ単位で表示される画像が変わります。
十字キー（▲▼◀▶）で選択枠が移動します。10以上の画像が記録されている場合、①の画像を選択しているときに十字キー（▲◀）を押すと前のページが表示され、②の画像を選択しているときに十字キー（▼▶）を押すと次のページが表示されます。

選択枠
①
②
🗑選択消去　100-0010

画像の上に表示される記号の意味を示します。

| | |
|---|---|
| 無印 | ：音声なしの静止画 |
| 🎙（画像あり） | ：音声付きの静止画 |
| 🎥 | ：動画（1コマ目の画像が表示されます。） |
| 🎙（画像なし） | ：音声のみのファイル |

ズーム/⊞/🔍ボタンの🔍か**OK**ボタン、**MENU**ボタンを押すと、選択した画像の1画面表示に切り替わります。
▶ボタンを押すと、📷モードに切り替わります。

## フォルダ表示

画像や音声が複数のフォルダに分かれて記録されている場合は、下記の手順で目的のフォルダを選ぶことができます。

**1 ▶モードで、ズーム/⊞/🔍ボタンの⊞を押す**

画面が9画面表示に切り替わります。

**2 ズーム/⊞/🔍ボタンの⊞を押す**

フォルダの一覧が表示されます。

**3 十字キー（▲▼◀▶）でフォルダを選ぶ**

ズーム/⊞/🔍ボタンの🔍か**OK**ボタン、**MENU**ボタンを押すと、フォルダ内の画像が9画面表示されます。
続いてズーム/⊞/🔍ボタンの🔍か**OK**ボタン、**MENU**ボタンを押すと、選択した画像の1画面表示に切り替わります。

画像のフォルダ名を変更する ☞p.136

## 再生画像を拡大する

画像を再生する際、最大8倍まで拡大表示できます。拡大中は、液晶モニターに画像の拡大個所の中心を表示するためのガイドが表示されます。

**1　▶モードに入り、十字キー（◀▶）で拡大表示したい画像を選ぶ**

**2　ズーム/⊞/Qボタンの Q を押す**

画面が大きく（1.1倍～8倍）表示されます。
ズーム/⊞/Qボタンの Q を押し続けると連続的に大きさが変わります。
画像のどの部分を拡大しているかを画面左下のガイド表示で確認できます。

ガイド表示

**拡大表示中にできる操作**

| | |
|---|---|
| 十字キー（▲▼◀▶） | 拡大位置を移動する |
| ズーム/⊞/Qボタン（Q） | 画像を拡大する（最大8倍まで） |
| ズーム/⊞/Qボタン（⊞） | 画像を縮小する（最小1.1倍まで） |

**3　OKボタンを押す**

1画面表示に戻ります。

- 動画は拡大表示できません。
- 液晶モニターが「情報表示なし」になっている場合は、ガイドは表示されません。

## クイック拡大をオン／オフする

クイック拡大をオンにすると、1画面表示時にズーム/⊞/🔍ボタンの🔍を1回押すだけで、画像を最大倍率（8倍）まで拡大できます。

**1　▶モードでMENUボタンを押す**

「設定」メニューが表示されます。

**2　十字キー（▲▼）を押して「クイック拡大」を選ぶ**

**3　十字キー（◀▶）で☑（オン）と□（オフ）を切り替える**

☑ ：8倍まで一気に拡大する

□ ：ズーム /⊞/🔍 ボタンの 🔍 を 1 回押すと、×1.1～×8.0の範囲で1段階ずつ拡大する

**4　MENUボタンを押す**

▶モードに戻ります。

## 撮影時の情報を表示する

▶モード時にOK/DISPLAYボタンを押すと、表示中の画像に関する撮影情報などの表示が切り替わります。
表示内容の詳細は、p.18をご覧ください。

撮影時に撮影情報を確認する ☞p.69

# スライドショウで連続再生する

保存された画像を連続して再生します。

**1　▶モードに入り、十字キー（◀▶）でスライドショウを開始する画像を選ぶ**

**2　十字キー（▼）を押す**

再生モードパレットが表示されます。

**3　十字キー（▲▼◀▶）で▶（スライドショウ）を選ぶ**

**4　OKボタンを2回押す**

スライドショウがスタートします。
スライドショウの途中で**OK**ボタンを押すと、一時停止します。一時停止中に**OK**ボタンを押すと再開します。

**5　OKボタン、電源スイッチ以外のどれかのボタンを押す**

スライドショウが終了します。

## スライドショウの条件を設定する

再生時の表示間隔、画像切り替え時の画面効果／効果音を設定します。

**1　▶モードで十字キー（▼）を押す**

再生モードパレットが表示されます。

**2　十字キー（▲▼◀▶）で▶（スライドショウ）を選ぶ**

## 3 OKボタンを押す

スライドショウの条件を設定する画面が表示されます。

## 4 十字キー（▲▼）で「表示間隔」を選ぶ

## 5 十字キー（▶）を押す

ポップアップが表示されます。

## 6 十字キー（▲▼）で表示間隔を切り替え、OKボタンを押す

3秒、5秒、10秒、20秒、30秒から選択できます。

## 7 十字キー（▲▼）で「画面効果」を選ぶ

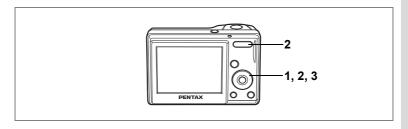
「画面効果」を選択後、引き続き十字キー（▶）を押すと、下記の選択できる内容がポップアップで表示されます。十字キー（▲▼）で選択し、**OK**ボタンを押すと決定します。

| | |
|---|---|
| オフ | 切り替え効果なし |
| ワイプ | 左から右へ画面が流れる効果 |
| チェッカー | 小さな四角のモザイク状のブロックで画面が切り替わる効果 |
| フェード | 現在の画像が徐々に消え、そこに次の画像が浮かび上がってくる効果 |

## 8 十字キー（▲▼）で「効果音」を選ぶ

## 9 十字キー（◀▶）で☑（オン）／□（オフ）を切り替える

画面効果が「オフ」以外のとき、画面が切り替わるときに流れる音のオン（☑）／オフ（□）を切り替えることができます。

## 10 OKボタンを押す

設定した表示間隔と画面効果でスライドショウが始まります。

- スライドショウは、**OK**ボタン、電源スイッチ以外のどれかのボタンを押して終了するまで何度でも繰り返します。
- 動画や音声付き画像は、表示間隔の設定にかかわらず、通常はすべて再生されてから次の画像に移ります。ただし、動画の再生中や音声付き画像の音声再生中に十字キー（▶）を押すと、次の画像へ移ります。
- ボイスレコーディングモードで録音した音声は、スライドショウでは再生されません。

AV機器と接続する ☞p.102

# 動画を再生する

## 動画を再生する

動画を再生します。動画再生時には、音声も同時に再生されます。

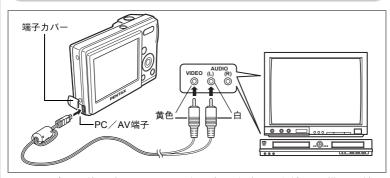
**1　▶ モードに入り、十字キー（◀▶）で再生したい動画を選ぶ**

**2　十字キー（▲）を押す**

再生が開始します。

**再生中にできる操作**

| | |
|---|---|
| 十字キー（◀） | 逆方向に再生 |
| 十字キー（▲） | 一時停止 |
| ズーム/♠♠♠/♠ ボタン（♠） | 音量を大きくする |
| ズーム/♠♠♠/♠ ボタン（♠♠♠） | 音量を小さくする |

**一時停止中にできる操作**

| | |
|---|---|
| 十字キー（◀） | コマ戻しする |
| 十字キー（▶） | コマ送りする |
| 十字キー（▲） | 一時停止を解除（再生） |

**3　十字キー（▼）を押す**

再生が停止します。

# AV機器と接続する

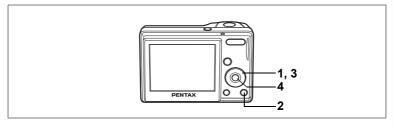
AVケーブルを使用すると、テレビなど、ビデオ入力端子を備えた機器をモニターにして撮影や再生ができます。ケーブルを接続するときは、テレビとカメラの電源を必ずオフにしてください。

**1 端子カバーを開き、PC／AV端子にAVケーブルを接続する**

**2 AVケーブルのもう一方の端子（映像：黄色、音声：白）を、AV機器の映像入力端子と音声入力端子に接続する**

ステレオ音声の機器に接続するときは、音声端子をL（白）に差し込んでください。

**3 AV機器の電源をオンにする**

カメラを接続した機器と、画像を映し出す機器が別の場合は、両方の電源をオンにします。
複数の映像入力端子があるAV機器（テレビなど）で画像を見る場合は、ご使用のAV機器の使用説明書をご確認の上、カメラを接続している映像入力端子を選択してください。

**4 カメラの電源をオンにする**

- 長時間使用するときは、ACアダプターキットK-AC51J（別売）の使用をおすすめします。
- 国や地域によってはビデオ出力方式が初期設定（「NTSC」）になっていると画像や音声を再生できない場合があります。その場合は、出力方式を「PAL」に切り替えてください。（p.138）
- AV機器に接続している間は、カメラの液晶モニターはオフになります。
- AV 機器に接続している間は、カメラのズームボタンを使っての音量調整はできません。

# 消去する

失敗したり、不要になった画像や音声を消去します。

## 1画像／音声ずつ消去する

1画像、1音声ずつ消去します。

プロテクトされている画像や音声は消去できません。（p.108）

**1　▶モードに入り、十字キー（◀▶）で消去したい画像／音声を選ぶ**

**2　🗑ボタンを押す**

消去を確認する画面が表示されます。

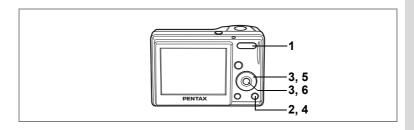
**3　十字キー（▲▼）で「消去」を選ぶ**

**4　OKボタンを押す**

消去されます。

クイックビューが表示されている間に🗑ボタンを押すと手順2の画面が表示され、撮影したばかりの画像を消去できます。（p.41）

## 音声を消去する

音声付きの画像（p.127）の場合は、画像は消去せずに音声のみを消去することができます。

**1　▶モードに入り、十字キー（◀▶）で音声付きの画像を選ぶ**

**2　🗑ボタンを押す**

消去を確認する画面が表示されます。

**3　十字キー（▲▼）で「音声消去」を選ぶ**

**4　OKボタンを押す**

音声が消去されます。

メモ　画像と音声の両方を消去するには、手順3で「消去」を選びます。

## 選択して消去する（9画面表示で消去）

9画面表示で複数の画像や音声を選択し、一括して削除します。

プロテクトされている画像や音声は消去できません。

**1 ▶モードで、ズーム/⊞/🔍ボタンの⊞を押す**

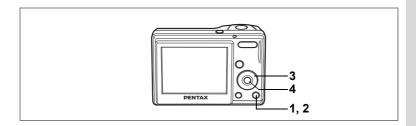
画像が9コマずつ表示されます。

**2 🗑ボタンを押す**

画像や音声に□が表示されます。

**3 十字キー（▲▼◀▶）で削除する画像または音声に移動し、OKボタンを押す**

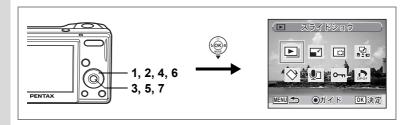
画像が選択され、☑が表示されます。
ズーム/⊞/🔍ボタンの🔍を押すと、押している間だけ選択した画像が1画面表示されますので、削除したい画像かどうかを確認できます（離すと9画面表示に戻ります）。ただし、プロテクトされた画像は1画面表示できません。

## 4 🗑ボタンを押す

消去を確認する画面が表示されます。

## 5 十字キー（▲▼）で「選択消去」を選ぶ

## 6 OKボタンを押す

選択した画像や音声が消去されます。

## まとめて消去する

保存されているすべての画像や音声を消去します。

プロテクトされている画像や音声は消去できません。（p.108）

**1　▶モードで 🗑 ボタンを押す**

消去を確認する画面が表示されます。

**2　🗑 ボタンを押す**

すべての画像や音声の消去を確認する画面が表示されます。

**3　十字キー（▲▼）で「全画像/音声消去」を選ぶ**

**4　OK ボタンを押す**

すべての画像や音声が消去されます。

5 画像の再生と消去

## 消去できないようにする（プロテクト）

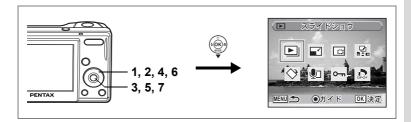
記録した画像や音声を誤って消去しないようにプロテクト（保護）することができます。

**1　▶モードで十字キー（▼）を押す**

再生モードパレットが表示されます。

**2　十字キー（▲▼◀▶）で O‐π（プロテクト）を選ぶ**

**3　OK ボタンを押す**

「1画像/音声」または「全画像/音声」を選択する画面が表示されます。

**4　十字キー（▲▼）で「1画像/音声」を選ぶ**

**5　OK ボタンを押す**

「この画像/音声にプロテクト設定を行います」というメッセージの画面が表示されます。別の画像または音声をプロテクトする場合は、十字キー（◀▶）で画像または音声を選びます。

**6　十字キー（▲▼）で「プロテクト」を選ぶ**

**7　OK ボタンを押す**

選択した画像または音声がプロテクトされます。

メモ
- プロテクトを解除するには、手順6で「解除」を選びます。
- プロテクトされている画像や音声には、再生時にファイル番号の下に O‐π が表示されます。

## すべての画像と音声をプロテクトするには

**1　▶モードで十字キー（▼）を押す**

再生モードパレットが表示されます。

**2　十字キー（▲▼◀▶）でО┳（プロテクト）を選ぶ**

**3　OK ボタンを押す**

「1画像/音声」または「全画像/音声」を選択する画面が表示されます。

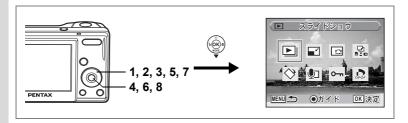
**4　十字キー（▲▼）で「全画像 / 音声」を選ぶ**

**5　OK ボタンを押す**

「プロテクト」または「解除」を選択する画面が表示されます。

すべての画像/音声に
プロテクト設定を行います
プロテクト
解除
MENU 取消
OK 決定

**6　十字キー（▲▼）で「プロテクト」を選ぶ**

**7　OK ボタンを押す**

すべての画像と音声がプロテクトされます。

SDメモリーカードまたは内蔵メモリーをフォーマットすると、プロテクトされている画像や音声も消去されます。

手順6で「解除」を選ぶと、すべての画像と音声のプロテクト設定が解除されます。

# 編集する

## 画像のサイズと画質を変更する（リサイズ）

選択した画像の記録サイズと画質を変更して、元の画像よりもファイルサイズを小さくすることができます。SDメモリーカードまたは内蔵メモリーがいっぱいになって撮影できなくなったとき、画像をリサイズして上書きすれば、空き容量が増え、続けて撮影できます。

- 動画はリサイズできません。
- 元の画像よりも大きいサイズ、きれいな画質は選択できません。

**1　▶モードに入り、十字キー（◀▶）でリサイズする画像を選ぶ**

**2　十字キー（▼）を押す**

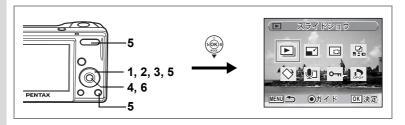
再生モードパレットが表示されます。

**3　十字キー（▲▼◀▶）で（リサイズ）を選ぶ**

**4　OKボタンを押す**

記録サイズと画質を選択する画面が表示されます。

**5　「記録サイズ」と「画質」を選択する**

それぞれ、十字キー（◀▶）で選択します。「記録サイズ」と「画質」の切り替えは、十字キー（▲▼）で行います。

## 6 OKボタンを押す

上書きを確認する画面が表示されます。
画像がプロテクトされている場合は、「新規保存」だけが選択できます。

## 7 十字キー（▲▼）で「上書き保存」または「新規保存」を選ぶ

## 8 OKボタンを押す

リサイズされた画像が保存されます。

## 画像をトリミングする

画像周囲の不要な部分をカットして、別の画像として保存します。

**1　▶モードに入り、十字キー（◀▶）でトリミングする画像を選ぶ**

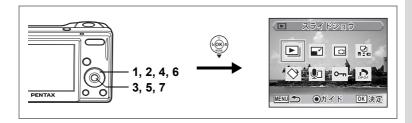
**2　十字キー（▼）を押す**

再生モードパレットが表示されます。

**3　十字キー（▲▼◀▶）で⬚（トリミング）を選ぶ**

**4　OKボタンを押す**

トリミングを行う画面が表示されます。

**5　トリミング条件を選ぶ**

| | |
|---|---|
| ズーム/▦/🔍ボタン | トリミングサイズを変える |
| 十字キー（▲▼◀▶） | トリミング位置を移動する |
| グリーンボタン | トリミング範囲を回転する |

**6　OKボタンを押す**

トリミングされた画像が新しいファイル名で保存されます。
トリミング後の画像は、元の画像と同じ画質で保存されます。記録サイズは、トリミングサイズに応じて自動的に設定されます。

動画はトリミングできません。

# 画像や音声をコピーする

内蔵メモリーとSDメモリーカード間で画像や音声をコピーします。カメラにSDメモリーカードが入っていないと、この機能は選択できません。

注意　SDメモリーカードをセットするときや取り出すときは、必ず電源をオフにしてください。

**1　▶モードで十字キー（▼）を押す**

再生モードパレットが表示されます。

**2　十字キー（▲▼◀▶）で（画像/音声コピー）を選ぶ**

**3　OKボタンを押す**

コピー方法を選択する画面が表示されます。

## 内蔵メモリーからSDメモリーカードにコピーする場合

内蔵メモリー内のすべての画像と音声をSDメモリーカードにまとめてコピーします。画像をコピーする前に、SDメモリーカードに充分な容量があることを確認しておいてください。

**4　十字キー(▲▼)を押して「●➡SD」を選ぶ**

**5　OKボタンを押す**

すべての画像と音声がコピーされます。

6
画像の編集と印刷

### SDメモリーカードから内蔵メモリーにコピーする場合

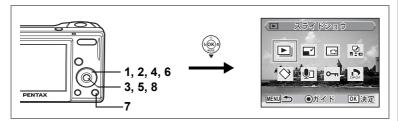
SDメモリーカード内の画像や音声を1つずつ選んで、内蔵メモリーにコピーします。

**4　十字キー（▲▼）を押して「SD➡内蔵メモリー」を選ぶ**

**5　OKボタンを押す**

**6　十字キー（◀▶）でコピーするファイルを選ぶ**

**7　OKボタンを押す**

選択した画像／音声がコピーされます。

- 音声付きの画像は、音声付きのままコピーされます。
- SDメモリーカードから内蔵メモリーにコピーする場合、新しいファイル名で画像がコピーされます。

6 画像の編集と印刷

# DPOFの設定をする

DPOF（Digital Print Order Format）とは、デジタルカメラで撮影した静止画像に、プリントのための情報を記録するためのフォーマットです。撮影した静止画にDPOF設定をすると、DPOF対応プリンターやプリントサービス店でDPOF設定にしたがったプリントが行えます。
動画や音声のみのファイルには、DPOF 設定をすることはできません。

## 1画像ずつ設定する

各画像ごとに、次の項目の設定をします。

| 枚数 | プリントする枚数を設定します。99枚までの設定ができます。 |
|---|---|
| 日付 | プリントする画像に日付を入れるか入れないかを設定します。 |

**1 ▶モードで十字キー（▼）を押す**

再生モードパレットが表示されます。

**2 十字キー（▲▼◀▶）で DPOF（DPOF）を選ぶ**

**3 OK ボタンを押す**

「1画像」または「全画像」を選択する画面が表示されます。

**4 十字キー（▲▼）で「1画像」を選ぶ**

## 5 OK ボタンを押す

「この画像にDPOF設定を行います」というメッセージの画面が表示されます。別の画像に DPOF 設定する場合は、十字キー（◀▶）で画像を選択します。
すでにDPOFが設定されている画像は、設定された枚数と日付の☑（オン）／□（オフ）が表示されます。

## 6 十字キー（▲▼）でプリント枚数を設定する

## 7 グリーンボタンを押し、日付の☑（オン）／□（オフ）を設定する

☑ ：プリントに日付を入れる
□ ：プリントに日付を入れない
その他の画像にもDPOF設定をしたい場合は、十字キー（◀▶）で画像を選び、手順6、7を繰り返します。

## 8 OK ボタンを押す

DPOF設定が保存され、DPOF設定メニュー画面に戻ります。

注意
プリンターやプリント取扱い店のプリント機器によっては、DPOFの設定で「日付」をオンにしても日付がプリントされないことがあります。

DPOF設定を解除するには、手順6で枚数を「00」に設定して、**OK** ボタンを押します。

## 全画像を設定する

カメラに保存されているすべての画像に同じ「枚数」「日付」の設定が適用されます。

**1　▶モードでDPOFの設定をする画面を表示する**

p.115の手順1～3をご覧ください。

**2　十字キー（▲▼）で「全画像」を選ぶ**

**3　OKボタンを押す**

「すべての画像にDPOF設定を行います」というメッセージの画面が表示されます。

**4　プリント枚数、日付の☑（オン）／□（オフ）を設定する**

設定のしかたは「1画像ずつ設定する」の手順6、7（p.116）をご覧ください。

**5　OKボタンを押す**

設定した値で全画像のDPOF設定が保存され、DPOFの設定をする画面に戻ります。

全画像設定では、すべての画像に同じプリント枚数が設定されます。プリントをする前に必ず、枚数の設定が正しいか確認してください。

全画像設定を行うと、1画像ずつの設定は解除されます。

# カメラとプリンターをつないでプリントする（PictBridge）

付属のUSBケーブル（I-USB7）でカメラをPictBridge対応プリンターに接続すると、パソコンを介さなくてもカメラからダイレクトに画像をプリントすることができます。プリントする画像の選択やプリント枚数などは、カメラとプリンターを接続した状態で、カメラ側で設定します。

- カメラをプリンターに接続するときは、ACアダプターキットK-AC51Jのご使用をおすすめします。プリンターと通信中に電池が消耗すると、プリンターが誤動作したり、画像データが壊れることがあります。
- データ転送中は、USBケーブルを抜かないでください。
- プリンターの機種によっては、カメラ側の設定（印刷設定、DPOF設定など）が一部反映されないことがあります。
- 設定されたプリント枚数が500枚以上になる場合、正しくプリントされないことがあります。
- 1 枚の用紙に複数画像をプリントする設定はカメラではできません。プリンター側で設定するか、パソコンを使って印刷してください。

## カメラをプリンターに接続する

**1　「設定」メニューの「USB接続」を「PictBridge」に設定する**

「USB接続モードを変更する」（p.137）をご覧ください。

**2　カメラの電源をオフにする**

**3　付属のUSBケーブルでカメラをプリンターに接続する**

**4　プリンターの電源をオンにする**

**5　プリンターの起動が完了したら、カメラの電源をオンにする**

印刷モードを選択する画面が表示されます。

## 1画像ずつプリントする

**1　印刷モードを選択する画面で十字キー(▲▼)を押して、「1画像」を選ぶ**

**2　OKボタンを押す**

印刷条件を設定する画面が表示されます。

**3　十字キー（◀▶）でプリントする画像を選ぶ**

**4　十字キー（▲▼）でプリントする枚数を選ぶ**

99枚まで設定できます。

**5　グリーンボタンで、日付の☑（オン）／□（オフ）を設定する**

☑　：プリントに日付を入れる
□　：プリントに日付を入れない

**6　OKボタンを押す**

印刷設定を確認する画面が表示されます。
プリンター側の印刷設定でプリントするときは、**OK**ボタンを押します。
印刷設定を変更するときは、手順7へ進みます。

**7　グリーンボタンを押す**

印刷設定の変更画面が表示されます。

**8　「用紙サイズ」を選び、十字キー（▶）を押す**

用紙サイズの選択画面が表示されます。

## 9 十字キー（▲▼◀▶）で用紙サイズを選ぶ

お使いのプリンターで印刷可能な用紙だけが選択できます。

## 10 OK ボタンを押す

用紙サイズの設定が保存され、印刷設定の変更画面に戻ります。

## 11 十字キー（▲▼）で「用紙タイプ」を選び、十字キー（▶）を押す

ポップアップが表示されます。

## 12 十字キー（▲▼）で用紙タイプを選び、OK ボタンを押す

用紙タイプの設定が保存され、印刷設定の変更画面に戻ります。引き続き、手順11～12と同様の操作で「印刷品質」「ふち指定」を設定します。

それぞれの 設定を選択するとプリンター側の設定にしたがいます。

用紙タイプは、★の数が多いほど高品質な用紙に対応します。

印刷品質は、★の数が多いほど高品質な印刷を行います。

各項目の設定が終了するごとに、印刷設定を確認する画面が表示されます。

## 13 MENU ボタンを押す

印刷設定を確認する画面に戻ります。

## 14 OK ボタンを押す

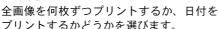
設定した値で印刷が開始されます。

MENU ボタンを押すと、印刷を中止します。

- プリンターと通信中はセルフタイマーランプが点灯、カードアクセス中、プリント中はセルフタイマーランプが点滅してお知らせします。セルフタイマーランプ点滅中は、USBケーブルを取り外さないでください。
- 「用紙サイズ」「用紙タイプ」「印刷品質」「ふち指定」の設定は、カメラの電源を切ると、ご購入時の状態に戻ります。


プリンターからケーブルを取り外す ☞p.122

## 全画像をプリントする

**1 印刷モードを選択する画面で十字キー（▲▼）を押して、「全画像」を選ぶ**

**2 OKボタンを押す**

印刷する条件を設定する画面が表示されます。

**3 プリント枚数、日付プリントの有無を設定する**

全画像を何枚ずつプリントするか、日付をプリントするかどうかを選びます。
設定のしかたは「1画像ずつプリントする」の手順4、5（p.119）をご覧ください。

**4 OKボタンを押す**

印刷設定の確認画面が表示されます。
印刷設定を変更するときは、「1画像ずつプリントする」の手順7～11（p.119～p.120）をご覧ください。

**5 印刷設定の確認画面でOKボタンを押す**

設定した条件で全画像のプリントが開始されます。
**MENU**ボタンを押すと、印刷を中止します。

## DPOFの設定でプリントする

**1　印刷モードを選択する画面で十字キー（▲▼）を押して、「DPOF指定」を選ぶ**

**2　OKボタンを押す**

DPOF設定の内容が表示されます。
十字キー（◀▶）で、画像ごとの印刷枚数、日付の有無、プリント合計枚数を確認できます。DPOF設定については、p.115をご覧ください。

**3　OKボタンを押す**

印刷設定の確認画面が表示されます。
印刷設定を変更するときは、「1画像ずつプリントする」の手順7～11（p.119～p.120）をご覧ください。

**4　印刷設定の確認画面でOKボタンを押す**

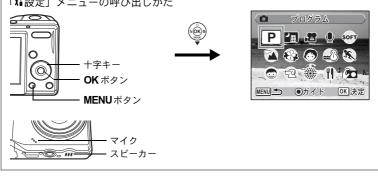
設定した内容でプリントされます。
**MENU**ボタンを押すと、印刷を中止します。

## プリンターからケーブルを取り外す

プリントが終了したら、USBケーブルをカメラとプリンターから取り外します。

**1　カメラの電源をオフにする**

**2　カメラとプリンターからUSBケーブルを取り外す**

## ImageLink print systemについて

このカメラは、ImageLink print systemに対応しています。Kodak EasyShareプリンタードックと組み合わせると、USBケーブルで接続する以外に、本製品に付属のドックインサート O-DI51をセットしたプリンタードックの上に直接カメラをのせて、簡単に画像をプリントすることができます。
印刷の方法等、プリンターに関する詳しい情報は、プリンターに付属の使用説明書をご覧ください。

このカメラとの組み合わせで、プリンターに搭載されている機能によっては、一部お使いいただけないことがあります。

# 音声を録音する（ボイスレコーディングモード）

音声を記録します。マイクはカメラ下部にありますので、音声を記録する際は最適な状況で録音できるように、カメラの向きを調整してください。

## 1 モードで十字キー（▼）を押す

撮影モードパレットが表示されます。

## 2 十字キー（▲▼◀▶）で（ボイスレコーディング）を選ぶ

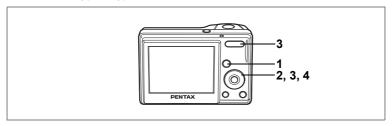
## 3 OKボタンを押す

液晶モニターに録音可能な時間と、これから録音するファイルの録音時間が表示されます。

**1** 録音時間
**2** 残り録音可能時間

## 4 シャッターボタンを全押しする

録音が開始されます。録音中は、セルフタイマーランプが点滅します。
録音中にグリーンボタンを押すと、録音中の音声にインデックスを付けることができます。

## 5　シャッターボタンを全押しする

録音を停止します。

- 手順4で1秒以上シャッターボタンを押し続けると、シャッターボタンから指を離したときに録音を停止します。
- 音声はモノラルのWAVEファイルで記録されます。

# 音声を再生する

🎙モードで録音した音声を再生します。

## 1 ▶ボタンを押す

## 2 十字キー（◀▶）で再生したい音声ファイルを選ぶ

## 3 十字キー（▲）を押す

録音を再生します。

**1** ファイルの総録音時間
**2** 再生済時間

**再生中にできる操作**

| | |
|---|---|
| 十字キー（▲） | 再生を一時停止 |
| ズーム/♠♠♠/♠ボタン（♠） | 音量を大きくする |
| ズーム/♠♠♠/♠ボタン（♠♠♠） | 音量を小さくする |
| インデックスがない場合 | |
| 十字キー（◀） | 巻き戻し |
| 十字キー（▶） | 早送り |
| インデックスがある場合 | |
| 十字キー（◀） | 前のインデックス位置から再生 |
| 十字キー（▶） | 次のインデックス位置から再生 |

**一時停止中にできる操作**

| | |
|---|---|
| 十字キー（▲） | 再生を再開 |
| 十字キー（◀） | 約5秒前に戻る |
| 十字キー（▶） | 約5秒先に送る |

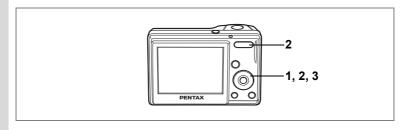
## 4 十字キー（▼）を押す

再生が停止します。

# 画像に音声を付ける（ボイスメモ）

撮影した静止画像に音声（ボイスメモ）を付けることができます。

## ボイスメモを録音する

**1　▶モードに入り、十字キー（◀▶）でボイスメモを付けたい画像を選ぶ**

**2　十字キー（▼）を押す**

再生モードパレットが表示されます。

**3　十字キー（▲▼◀▶）で🎙（ボイスメモ）を選ぶ**

**4　OKボタンを押す**

ボイスメモの録音を開始します。ボイスメモはSDメモリーカードまたは内蔵メモリーの容量いっぱいまで録音できます。

**5　OKボタンを押す**

ボイスメモの録音が終了します。

- すでにボイスメモが録音されている画像にボイスメモを上書きすることはできません。いったん音声を消去してから、もう一度録音してください。（p.104）
- プロテクト（O-π）されている画像（p.108）にボイスメモを付けることはできません。

## ボイスメモを再生する

**1　再生モードに入り、十字キー（◀▶）でボイスメモを再生する画像を選ぶ**

ボイスメモが録音されている画像は、1画面表示時に♪が表示されます。

**2　十字キー（▲）を押す**

録音されたボイスメモが再生されます。

**再生中にできる操作**

ズーム/♠♠♠/♠ボタン（♠）　音量を大きくする
ズーム/♠♠♠/♠ボタン（♠♠♠）　音量を小さくする

**3　十字キー（▼）を押す**

ボイスメモの再生を停止します。

音声を消去する ☞p.104

# カメラの設定をする

「設定」メニューの呼び出しかた

## SDメモリーカード／内蔵メモリーをフォーマットする

SDメモリーカードに保存されているすべてのデータを消去します。SDメモリーカードが入っていない場合は、内蔵メモリーのデータが消去されます。

- SD メモリーカードのフォーマット中は、カードを取り出さないでください。カードが破損して使用できなくなることがあります。
- フォーマットを行うと、プロテクトされた画像や、このカメラ以外で記録したデータも消去されます。ご注意ください。
- パソコンなどこのカメラ以外の機器でフォーマットされたSDメモリーカードは使用できません。必ずカメラでフォーマットを行ってください。

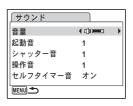
**1 「設定」メニューで、十字キー（▲▼）を押して「フォーマット」を選ぶ**

**2 十字キー（▶）を押す**

「フォーマット」画面が表示されます。

**3 十字キー（▲▼）で「フォーマット」を選ぶ**

**4 OK ボタンを押す**

フォーマットが開始されます。フォーマットが終わると撮影モードまたは再生モードに戻ります。

「🔧設定」メニューの呼び出しかた

## サウンドの設定を変更する

各種操作音の音量、それぞれの音の種類を変更できます。

**1　「🔧設定」メニューで、十字キー（▲▼）を押して「サウンド」を選ぶ**

**2　十字キー（▶）を押す**

「サウンド」画面が表示されます。

### 操作音量を変更する

**3　十字キー（▲▼）を押して「音量」を選ぶ**

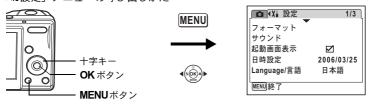
**4　十字キー（◀▶）を押して音量を調節する**

選んだ音量が保存されます。
音量を0にすると起動音、シャッター音、操作音、セルフタイマー音は鳴りません。

### 音の種類を変更する

**5　十字キー（▲▼）を押して「起動音」を選ぶ**

**6　十字キー（▶）を押す**

ポップアップが表示されます。

**7　十字キー（▲▼）で「1」「2」「3」「オフ」のいずれかを選び、OKボタンを押す**

選んだ音の種類が保存されます。

**8　手順5～7と同様の操作で「シャッター音」「操作音」「セルフタイマー音」を設定する**

セルフタイマー音は「オン」「オフ」から選びます。

**9　MENUボタンを押す**

変更した設定のまま、「設定」メニューに戻ります。

## 起動画面を変更する

カメラの電源をオンにしたときに表示される起動画面を設定します。3種類の画面から選択することができます。起動画面を表示させないこともできます。

**1 「設定」メニューで、十字キー（▲▼）を押して「起動画面表示」を選ぶ**

**2 十字キー（▶）を押す**

起動画面を選択する画面が表示されます。

**3 十字キー（◀▶）で起動画面を選ぶ**

「オフ」を選ぶと起動画面は表示されません。

**4 OKボタンを押す**

起動画面の設定が保存されます。

「起動画面表示」は、画面を選ぶと☑、「オフ」を選ぶと□になります。

8
設定

## 日時を変更する

初期設定で設定した日付と時刻を変更します。また、カメラに表示する日付の表示形式を設定します。

**1 「設定」メニューで、十字キー（▲▼）を押して「日時設定」を選ぶ**

**2 十字キー（▶）を押す**

「日時設定」画面が表示されます。

**3 十字キー（▶）を押す**

選択枠が「年/月/日」に移動します。
初期設定や前回の設定によっては、「月/日/年」または「日/月/年」が表示されていることもあります。

**4 十字キー（▲▼）を押して、日付の表示スタイルを設定する**

「年/月/日」「月/日/年」「日/月/年」から選びます。

**5 十字キー（▶）を押す**

選択枠が「24h」に移動します。

**6 十字キー（▲▼）を押して、「24h」（24時間表示）または「12h」（12時間表示）を設定する**

## 7 十字キー（▶）を押す

選択枠が「表示スタイル」に戻ります。

## 8 十字キー（▼）を押す

選択枠が「日付」に移動します。

日時設定
表示スタイル　年/月/日　24h
日付　▶2006/01/01
時刻　0:00
MENU 取消　OK 決定

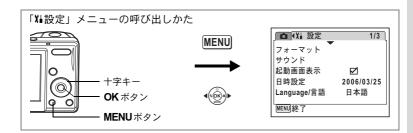
## 9 十字キー（▶）を押す

手順４で設定した表示スタイルにしたがって、選択枠が下記の項目に移動します。
「年/月/日」の場合　西暦年(例:「2006」年)
「月/日/年」の場合　月（例：「01」月）
「日/月/年」の場合　日（例：「01」日）
以下の操作手順や画面は、「年/月/日」に設定した場合です。他の表示スタイルに設定した場合でも、操作方法は同様です。

## 10 十字キー（▲▼）を押して、西暦年を設定する

## 11 十字キー（▶）を押す

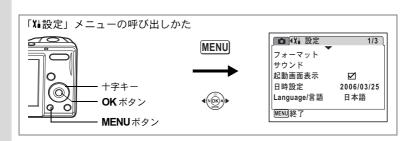
選択枠が「月」に移動します。十字キー（▲▼）で月を設定します。月を設定後は、同様の操作で、日を設定します。

## 12 手順7〜10と同様の操作で、時刻を設定する

手順6で「12h」を選択した場合は、時刻調整に連動してAM／PMが切り替わります。

## 13 OKボタンを押す

日時の設定が保存されます。

メモ

日時の設定終了後、**OK** ボタンを押すと、0秒にセットされます。時報に合わせて **OK** ボタンを押すと、秒単位まで正確な日時設定が行えます。

## 表示言語を変更する

メニューやエラーメッセージなどに表示される言語を変更します。
英語／フランス語／ドイツ語／スペイン語／イタリア語／スウェーデン語／オランダ語／ロシア語／韓国語／中国語（繁体字/簡体字）／日本語の11言語に対応しています。

**1 「設定」メニューで、十字キー（▲▼）を押して「Language/言語」を選ぶ**

**2 十字キー（▶）を押す**

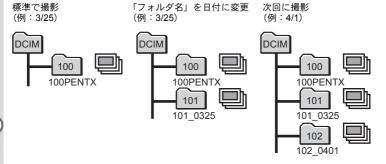
「Language/言語」画面が表示されます。

**3 十字キー（▲▼◀▶）で表示させたい言語を選ぶ**

**4 OK ボタンを押す**

選んだ言語で表示するように設定されます。

8 設定

「⚙設定」メニューの呼び出しかた

## 画像のフォルダ名を変更する

画像のフォルダ名を、標準から日付に変更できます。日付に設定すると写真は撮影日ごとに違うフォルダに保存されます。

**フォルダ名**

| 標準 | XXXPENTX（XXXは3桁のフォルダ番号） |
|---|---|
| 日付 | XXX_mmdd（3桁のフォルダ番号_月日） |

**1　「⚙設定」メニューで、十字キー（▲▼）を押して「フォルダ名」を選ぶ**

**2　十字キー（▶）を押す**

ポップアップが表示されます。

**3　十字キー（▲▼）で「標準」「日付」を切り替える**

**4　OK ボタンを押す**

フォルダ名の設定が保存されます。

8
設定

## USB接続モードを変更する

USBケーブルの接続先（パソコンまたはPictBridge対応プリンター）に応じてUSB接続モードを切り替えます。

パソコンとの接続については、別紙の『PC接続ガイド』をご覧ください。

**1 「設定」メニューで、十字キー（▲▼）を押して「USB接続」を選ぶ**

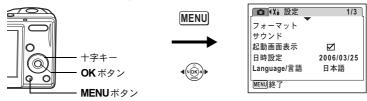
**2 十字キー（▶）を押す**

ポップアップが表示されます。

**3 十字キー（▲▼）で「PC」「PictBridge」を切り替える**

「PC」：パソコンに画像を転送する場合に選択

「PictBridge」：PictBridge対応のプリンターに接続する場合に選択

**4 OKボタンを押す**

USBモードの設定が保存されます。

「USB接続」で「PictBridge」に設定したままカメラをパソコンに接続しないでください。また、「PC」に設定したままカメラをプリンターに接続しないでください。

8 設定

「🔧設定」メニューの呼び出しかた

## ビデオ出力方式を選択する

AV機器と接続して撮影や再生をするときのビデオ出力形式を、NTSC方式とPAL方式から選択します。

**1 「🔧設定」メニューで、十字キー（▲▼）を押して「ビデオ出力」を選ぶ**

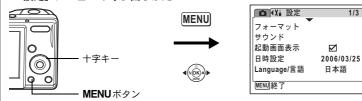
**2 十字キー（▶）を押す**

ポップアップが表示されます。

**3 十字キー（▲▼）で「NTSC」「PAL」を切り替える**

接続するAV機器のビデオ出力方式に合わせて選択します。

**4 OKボタンを押す**

ビデオ出力方式の設定が保存されます。

国や地域によってはビデオ出力方式が初期設定（「NTSC」）になっていると画像や音声を再生できない場合があります。その場合は、出力方式を「PAL」に切り替えてください。

AV機器と接続する ☞p.102

「設定」メニューの呼び出しかた

## 液晶モニターの明るさを自動調節させる（オートディマー）

オートディマーの機能を使うと、周囲の明るさに応じて、液晶モニターが最適な明るさで表示するよう自動的に調整されます。

**1 「設定」メニューで、十字キー（▲▼）を押して「オートディマー」を選ぶ**

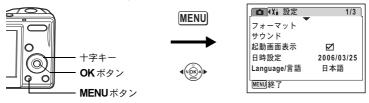
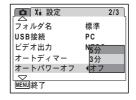
**2 十字キー（◀▶）で☑（オン）と□（オフ）を切り替える**

下記の設定で保存されます。
オン：オートディマーの機能を有効にする
オフ：オートディマーの機能を無効にする

設定 2/3
フォルダ名 標準
USB接続 PC
ビデオ出力 NTSC
オートディマー ☑
オートパワーオフ 3分
MENU 終了

**3 MENUボタンを押す**

撮影モードまたは再生モードに戻ります。
設定を変更する場合は、再度同様の操作を行ってください。

以下の場合は、オートディマー機能が作動しません。
- 再生モード中
- パソコン／プリンター接続中
- 動画撮影中

## オートパワーオフを設定する

一定時間操作しないときに、自動的に電源が切れるように設定できます。

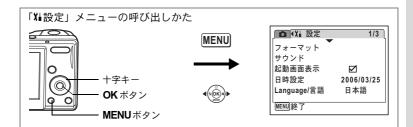
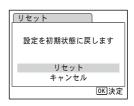
**1　「設定」メニューで、十字キー（▲▼）を押して「オートパワーオフ」を選ぶ**

**2　十字キー（▶）を押す**

ポップアップが表示されます。

**3　十字キー（▲▼）で「5分」「3分」「オフ」を切り替える**

**4　OK ボタンを押す**

オートパワーオフの設定が保存されます。

以下の場合は、オートパワーオフ機能が作動しません。
- スライドショウ／動画再生中
- パソコン／プリンター接続中

## 設定をリセットする

カメラの設定内容をご購入時の状態に戻します。リセット項目については「初期設定一覧」(p.142)をご覧ください。

**1 「設定」メニューで、十字キー（▲▼）を押して「リセット」を選ぶ**

**2 十字キー（▶）を押す**

「リセット」画面が表示されます。

**3 十字キー（▲▼）で「リセット」を選ぶ**

**4 OK ボタンを押す**

設定がリセットされます。

以下の設定はリセット前のまま保存されます。
日時設定、Language/言語、ビデオ出力

8 設定

# 初期設定一覧

工場出荷時の設定を表に示します。
各メニュー項目の中で初期設定値があるものについて表示内容の意味を示します。

**ラストメモリ設定**

する　：カメラの電源をオフにしても現在の設定（ラストメモリ）が保存される。
しない：カメラの電源をオフにすると初期設定に戻る。
※　　：「する」／「しない」は「モードメモリ」(p.86) の設定による。

**リセット設定**

する　：リセット（p.141）で初期設定に戻る。
しない：リセットしても設定が保存される。

## ●「撮影」メニュー項目

| 名称 | | 初期設定 | ラストメモリ設定 | リセット設定 | 参照 |
|---|---|---|---|---|---|
| 記録サイズ | | 6M（2816×2112） | する | する | p.75 |
| 画質 | | ★★（ファイン） | する | する | p.77 |
| ホワイトバランス | | AWB（オート） | ※ | する | p.78 |
| AFエリア | | [　]（マルチ） | する | する | p.80 |
| 感度 | | オート | ※ | する | p.81 |
| 露出補正 | | ±0.0 | ※ | する | p.68 |
| 動画 | 記録サイズ | 320（320×240） | する | する | p.90 |
| | カラーモード | フルカラー | する | する | p.91 |
| | フレームレート | 30fps | する | する | p.92 |
| デジタルズーム | | オン | ※ | する | p.67 |
| クイックビュー | | 1秒 | する | する | p.82 |
| モードメモリ | ストロボモード | オン | ― | する | p.73 |
| | ドライブモード | オフ | ― | する | p.62、p.63、p.64 |
| | フォーカスモード | オフ | ― | する | p.71 |
| | ズーム位置 | オフ | ― | する | p.66 |
| | MF位置 | オフ | ― | する | p.72 |

| 名称 | | 初期設定 | ラストメモリ設定 | リセット設定 | 参照 |
|---|---|---|---|---|---|
| モードメモリ | ホワイトバランス | オフ | ― | する | p.78 |
| | 感度 | オフ | ― | する | p.81 |
| | 露出補正 | オフ | ― | する | p.68 |
| | デジタルズーム | オン | ― | する | p.67 |
| | DISPLAY | オフ | ― | する | p.69、p.98 |
| | ファイルNo. | オン | ― | する | ― |
| シャープネス | | 標準 | する | する | p.83 |
| 彩度 | | 標準 | する | する | p.84 |
| コントラスト | | 標準 | する | する | p.85 |

## ●「設定」メニュー項目

| 名称 | | 初期設定 | ラストメモリ設定 | リセット設定 | 参照 |
|---|---|---|---|---|---|
| サウンド | 音量 | 3 | する | する | p.130 |
| | 起動音 | 1 | する | する | |
| | シャッター音 | 1 | する | する | |
| | 操作音 | 1 | する | する | |
| | セルフタイマー音 | オン | する | する | |
| 起動画面表示 | | Optioロゴ画面 | する | する | p.132 |
| 日時設定 | 表示スタイル(年月日) | 初期設定による | する | しない | p.36 |
| | 表示スタイル(時間) | 初期設定による | する | しない | |
| | 日付 | 初期設定による | する | しない | |
| | 時刻 | 初期設定による | する | しない | |
| Language/言語 | | 初期設定による | する | しない | p.34 |
| フォルダ名 | | 標準 | する | する | p.136 |
| USB接続 | | PC | する | する | p.137 |
| ビデオ出力 | | 初期設定による | する | しない | p.138 |
| オートディマー | | オン | する | する | p.139 |
| オートパワーオフ | | 3分 | する | する | p.140 |
| クイック拡大 | | オフ | する | する | p.97 |

## ● 再生モードパレット項目

| 名称 | | 初期設定 | ラストメモリ設定 | リセット設定 | 参照 |
|---|---|---|---|---|---|
| スライドショウ | 表示間隔 | 3秒 | する | する | p.99 |
| | 画面効果 | ワイプ | する | する | |
| | 効果音 | オン | する | する | |

## ● キーによる操作

| 名称 | | 機能 | 初期設定 | ラストメモリ設定 | リセット設定 | 参照 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ▶ボタン | | 動作モード | ▶モード | — | — | — |
| ズーム/♠♠♠/♠ボタン | | ズーム位置 | 広角端 | ※ | する | p.66 |
| 十字キー | ▲ | ドライブモード | □（標準） | ※ | する | p.62、p.63、p.64 |
| | ▼ | 撮影モード | P（プログラム） | する | する | p.51 |
| | ◀ | ストロボモード | ⚡A（オート） | ※ | する | p.73 |
| | ▶ | フォーカスモード | **AF**（標準） | ※ | する | p.71 |
| **MENU**ボタン | | メニュー表示 | 撮影モード：「📷メニュー」<br>再生モード：「🔧メニュー」 | — | — | p.46 |
| **OK/DISPLAY**ボタン | | 情報表示 | 標準 | ※ | する | p.69、p.98 |

# 撮影モードごとの使える機能／使えない機能

○：設定でき、動作にも反映されます。
×：設定できません。
△：設定はできますが、動作には反映されません。

| | | | | | | SOFT | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| （オート） | ○ | ○ | ○ | ×※2 | × | ○ | ○ | ○ | ×※2 |
| （発光禁止） | ○ | ○ | ○ | ○※2 | × | ○ | ○ | ○ | ○※2 |
| （強制発光） | × | ○ | ○ | ×※2 | × | ○ | ○ | ○ | ×※2 |
| （オート＋赤目） | × | ○ | ○ | ×※2 | × | ○ | ○ | ○ | ×※2 |
| （強制＋赤目） | × | ○ | ○ | ×※2 | × | ○ | ○ | ○ | ×※2 |
| （セルフタイマー） | ○※1 | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ |
| （2秒セルフタイマー） | ○※1 | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ |
| （連続撮影） | × | ○ | × | × | × | × | ○ | ○ | × |
| （フレーム合成） | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ |
| AF（標準） | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | ○ | ×※9 |
| （マクロ） | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | ○ | ×※9 |
| （無限遠） | × | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | ○ | ○※9 |
| MF（マニュアルフォーカス） | × | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | ○ | ×※9 |
| 記録サイズ | × | ○ | ○ | △※3 | △ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 画質 | × | ○ | ○ | △ | △ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ホワイトバランス | × | ○ | × | ○ | △※7 | × | × | × | × |
| AFエリア | × | ○ | ○ | △ | △ | ○ | ○ | ×※8 | △ |
| 感度 | × | ○ | ○ | ○ | △ | ○ | ○ | ○ | × |
| 露出補正 | × | ○ | ○ | ○※4 | △ | ○ | ○ | ○ | × |
| 動画 | × | △ | △ | ○ | △ | △ | △ | △ | △ |
| デジタルズーム | × | ○ | ○ | ○※5 | △ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| クイックビュー | × | ○ | ○ | ○ | △ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| モードメモリ | × | ○ | ○ | ○※6 | ○※6 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| シャープネス | × | ○ | × | ○ | △ | × | × | × | × |
| 彩度 | × | ○ | × | ○ | △ | × | × | × | × |
| コントラスト | × | ○ | × | ○ | △ | × | × | × | × |

※1 グリーンモード以外の撮影モードで設定した方が使用可能
※2 （発光禁止）に固定
※3「動画」設定値に準ず
※4 撮影中は不可
※5 撮影中はデジタルズームのみ
※6 実際に設定できる機能のみ保存可
※7 （マニュアル）は設定不可
※8 自動追尾に固定
※9 （無限遠）に固定

# 別売アクセサリー一覧

本機には、別売アクセサリーとして以下の製品が用意されています。

**ACアダプターキット K-AC51J**

**USBケーブル I-USB7（※）**

**AVケーブル I-AVC7（※）**

**ストラップ**

**O-ST51（※）**

**O-ST24**　本革を使ったリッチなレザーストラップです。

**O-ST8**　シルバーに輝くチェーンストラップです。

**O-ST30**

**カメラケース**

**O-CC51**

（※）の製品は同梱品と同じものです。

# メッセージ一覧

カメラを使用中に、液晶モニターに表示されるメッセージには以下のようなものがあります。

| メッセージ | 内容 |
|---|---|
| 電池容量がなくなりました | 電池の残量がありません。新しい電池と交換するか、充電式電池の場合は充電器で充電してください。（p.22） |
| カードの空き容量がありません | SDメモリーカードに容量いっぱいの画像が保存されていて、これ以上画像を保存できません。<br>新しいSDメモリーカードをセットするか、不要な画像を消去してください。（p.26、p.103）<br>撮影済み画像の画質または記録サイズを変えると保存できる可能性があります。（p.110） |
| カードが異常です | SDメモリーカードの異常で、撮影／再生ともにできません。パソコン上では画像を表示またはコピーできる場合もあります。 |
| カードがフォーマットされていません | フォーマットされていないSDメモリーカードがセットされているか、パソコンなどでフォーマットされたSDメモリーカードがセットされています。（p.129） |
| カードがロックされています | SDメモリーカードがライトプロテクトされています。（p.28） |
| 圧縮に失敗しました | 撮影時にSDメモリーカードの容量の上限を超えたときに表示されます。 |
| 画像/音声がありません | SDメモリーカードに再生できる画像や音声が保存されていません。 |
| 動画記録を中止します | 動画撮影時にカメラ内部の温度上昇が限界を超えた場合に表示されます。 |
| 消去中です | 画像や音声を消去中に表示されます。 |
| 再生できません | このカメラでは再生できない画像や音声を再生しようとしています。他社のカメラやパソコンでは表示できる場合があります。 |
| フォルダが作成できません | 最大のフォルダ番号（999）で最大のファイル番号（9999）が使用されているため、画像を保存できません。新しいSDメモリーカードをセットするか、SDメモリーカードをフォーマットしてください。（p.129） |
| プロテクトされています | プロテクトされた画像や音声を消去しようとした場合に表示されます。 |
| 記録中です | 画像がまだ記録中なのに、▶モードに切り替えたとき、またはプロテクト、DPOF設定記録中に表示されます。画像または設定の記録が終了したら表示が消えます。 |
| 処理中です | 画像処理などに時間がかかり5秒以上スルー画像が表示できないとき、またはSDメモリーカードや内蔵メモリーをフォーマット中に表示されます |

PictBridge機能を使用する場合に、液晶モニターに表示されるメッセージには以下のようなものがあります。

| 用紙がありません | 接続したプリンターの用紙がない場合に表示されます。 |
|---|---|
| インクがありません | 接続したプリンターのインクがない場合に表示されます。 |
| プリンターエラーです | 接続したプリンターからエラーメッセージが送られた場合に表示されます。 |
| データエラーです | 接続したプリンターからデータに関してのメッセージが送られた場合に表示されます。 |
| 用紙が詰まりました | 接続したプリンターで紙詰まりが起こった場合に表示されます。 |

# こんなときは？

| 現象 | 原因 | 対処方法 |
|---|---|---|
| 電源が入らない | 電池が入っていない | 電池が入っているか確認し、入っていなければ入れてください。 |
| | 電池の入れかたを間違えている | 電池の挿入方向を確認してください。電池室の⊕⊖表示にしたがって電池を入れなおしてください。（p.20） |
| | 電池の残量がない | 新しい電池を入れてください。または、ACアダプターを使用してください。 |
| 液晶モニターに何も表示されない | パソコンに接続している | パソコンに接続しているときは、液晶モニターは常にオフになります。 |
| | テレビに接続している | テレビに接続しているときは、液晶モニターは常にオフになります。 |
| | 表示はされているが、確認しづらい | 日中屋外での撮影は、液晶モニターが表示されていても、確認しづらいことがあります。 |
| シャッターが切れない | ストロボが充電中 | ストロボ充電中は撮影できません。充電が完了すると撮影できます。 |
| | SDメモリーカードまたは内蔵メモリーに空き容量がない | 空き容量のあるSDメモリーカードをセットするか、不要な画像を消去してください。（p.26、103） |
| | 書き込み中 | 書き込みが終了するまで待ってください。 |
| 撮影した写真が暗い | 夜景などの暗い場所で撮るものまでの距離が遠い | 被写体までの距離が遠すぎると、撮影した画像が暗くなります。ストロボの光がとどく範囲で撮影してください。 |

| 現象 | 原因 | 対処方法 |
| --- | --- | --- |
| ピントが合わない | オートフォーカスの苦手なものを撮影しようとしている | いったん撮りたいものと同じ距離にあるピントの合いやすいものにピントを固定（シャッターボタン半押し）したまま、撮りたい構図に変えてシャッターを切ります。（p.39）あるいはマニュアルフォーカスを使用してください。（p.72） |
| | AFエリアに被写体が入っていない | 液晶モニター中央のAFエリアに、ピントを合わせたいものを入れてください。撮りたいものが、AFエリアにない場合は、いったん撮りたいものをAFエリアに入れて、ピントを固定（シャッターボタン半押し）したまま、撮りたい構図に変えてシャッターを切ります。 |
| | 被写体が近すぎる | フォーカスモードをにセットしてください。（p.71） |
| | フォーカスモードがになっている | フォーカスモードがにセットされているときは、通常の撮影域にはピントが合いません。 |
| ストロボが発光しない | ストロボの発光方法が（発光禁止）になっている | オートまたは（強制発光）に設定してください。（p.73） |
| | ドライブモードが<br>フォーカスモードが<br>撮影モードが、 | これらのモードではストロボは発光しません。 |
| パソコンとのUSB接続がうまくいかない | PictBridgeモードになっている | カメラのUSB接続モード「PC」に切り替えてください。（p.137） |
| プリンターとのUSB接続がうまくいかない | 転送モードが「PC」になっている | 転送モードを「PictBridge」に切り替えてください。（p.118） |

静電気などの影響により、まれにカメラが正しい動作をしなくなることがあります。このような場合には、電池を入れ直してみてください。入れ直してから再度、電源をオンにしてカメラが正常に動作すれば故障ではありませんので、そのままお使いいただけます。

# 主な仕様

| | | |
|---|---|---|
| 型式 | ズームレンズ内蔵全自動コンパクトタイプデジタルスチルカメラ | |
| 有効画素数 | 600万画素 | |
| 撮像素子 | 総画素数618万画素、<br>原色フィルター／インターライントランスファー 1/2.5型CCD | |
| 記録画素数 | 静止画 | 6M（2816×2112）、5M（2560×1920）<br>4M（2304×1728）、3M（2048×1536）<br>2M（1600×1200）、1024（1024×768）<br>640（640×480）（ピクセル） |
| | 動画 | 320（320×240）、160（160×120）ピクセル |
| 感度 | オート、マニュアル（64／100／200／400：標準出力感度） | |
| 記録方式 | 静止画 | JPEG（Exif2.2）、DCF準拠、DPOF対応、<br>PictBridge対応、PRINT Image Matching III対応 |
| | 動画 | MOV（QuickTime Motion JPEG準拠）、ストリーミング記録、約30fps／約15fps（フレーム／秒）、PCM方式、モノラル音声付、フルカラー・セピア・白黒切替可 |
| | 音声 | ボイスメモ、ボイスレコード：WAVE（PCM）方式、モノラル |
| 画質 | 静止画 | ★★★（S.ファイン）、★★（ファイン）、★（エコノミー） |
| 記録媒体 | 内蔵メモリー（約22MB）、SDメモリーカード | |

撮影枚数と時間

静止画

| | ★★★（S.ファイン） | | ★★（ファイン） | | ★（エコノミー） | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 内蔵メモリー | 128MB | 内蔵メモリー | 128MB | 内蔵メモリー | 128MB |
| 6M 2816×2112 | 7枚 | 41枚 | 14枚 | 83枚 | 22枚 | 124枚 |
| 5M 2560×1920 | 8枚 | 49枚 | 17枚 | 95枚 | 24枚 | 137枚 |
| 4M 2304×1728 | 11枚 | 62枚 | 22枚 | 124枚 | 31枚 | 178枚 |
| 3M 2048×1536 | 13枚 | 77枚 | 27枚 | 153枚 | 40枚 | 223枚 |
| 2M 1600×1200 | 22枚 | 124枚 | 37枚 | 206枚 | 54枚 | 301枚 |
| 1024 1024× 768 | 43枚 | 244枚 | 74枚 | 412枚 | 93枚 | 522枚 |
| 640 640× 480 | 87枚 | 489枚 | 127枚 | 712枚 | 175枚 | 979枚 |

撮影枚数は目安です。SDメモリーカードや被写体により実際の撮影枚数は異なることがあります。

動画

| | 30fps | | 15fps | | 音声 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 内蔵メモリー | 128MB | 内蔵メモリー | 128MB | 内蔵メモリー | 128MB |
| 320 320×240 | 33秒 | 3分6秒 | 1分3秒 | 5分55秒 | 47分57秒 | 4時間27分19秒 |
| 160 160×120 | 2分7秒 | 11分51秒 | 3分54秒 | 21分45秒 | | |

撮影時間・録音時間は目安です。SDメモリーカードや被写体により実際の撮影時間・録音時間は異なることがあります。

| | | |
|---|---|---|
| ホワイトバランス | オート、太陽光、曇天、白熱灯、蛍光灯、マニュアル | |
| レンズ | 焦点距離 | 5.8mm～17.4mm（35mmフィルム換算：35mm～105mm相当） |
| | F値 | F2.8～F4.9 |
| | レンズ構成 | 5群6枚（非球面レンズ2枚使用） |
| | ズーム方式 | 電動式 |
| | 撮影範囲 | 約104.6mm×約78.4mmを画面いっぱいに撮影可能（マクロモード時） |
| | レンズバリア | 電動式 |
| デジタルズーム | 撮影時 | 最大約4倍（光学3倍ズームと合わせ、最大約12倍ズーム相当のズーム倍率） |
| 液晶モニター | 2.5型TFTカラーLCD（バックライト付）微反射タイプ、照度センサーによる明るさ自動機能調整付、約11.5万画素 | |
| 再生機能 | 1コマ、インデックス（9画面）、拡大（最大8倍まで、スクロール可）、フォルダ表示、回転表示、音声再生、ボイスメモ再生、スライドショウ、動画再生、ヒストグラム表示、白とび・黒つぶれ表示、画像/音声コピー、トリミング、リサイズ、プロテクト、DPOF機能あり | |
| フォーカスモード | オートフォーカス、マクロ、無限遠、マニュアルフォーカス | |
| | 方式 | 撮像素子によるTTLコントラスト検出方式<br>9点AF（マルチ／スポット／自動追尾切替可） |
| | 静止画（レンズ前面から） | ノーマル　：約0.7m～∞（ズーム全域）<br>マクロ　　：約0.1m～約0.8m（広角時）<br>　　　　　　約0.4m～約0.8m（望遠時）<br>遠景　　　：∞（ズーム全域）<br>マニュアルフォーカス：<br>　　　　　　約0.1m～∞（広角時）、<br>　　　　　　約0.4m～∞（望遠時）<br>※自動追尾AF時のみ、コンティニュアスAF可 |
| | フォーカスロック | シャッターボタン半押しによる |

| | | |
|---|---|---|
| 露出機構 | 測光方式 | 撮像素子によるTTL測光（分割） |
| | 露出補正 | ±2EV（1/3EVステップで設定可能） |
| 撮影モード | グリーン、プログラム、夜景、動画、ボイスレコーディング、ソフト、風景、花、ポートレート、サーフ＆スノー、スポーツ、キッズ、ペット、花火、料理、セルフポートレート | |
| 動画 | 連続録画時間 | 約1秒～内蔵メモリー／SDメモリーカードの容量いっぱいまで |
| シャッター | 型式 | メカニカル併用電子シャッター |
| | 速度 | 約1/1500秒～約4秒 |
| ストロボ | 型式 | 赤目軽減機能付オートストロボ |
| | 発光モード | オート（低照度時）、発光禁止、強制発光、オート＋赤目軽減、強制発光＋赤目軽減（夜景モード時のみ低速シンクロ可能） |
| | 撮影範囲 | 広角時 約0.4m～約4.0m<br>（標準出力感度オートの条件において）<br>望遠時 約0.4m～約2.5m<br>（標準出力感度オートの条件において） |
| ドライブモード | 1コマ撮影、セルフタイマー撮影（約10秒後、約2秒後）、連続撮影、フレーム合成 | |
| セルフタイマー | 電子制御式、制御時間：約10秒、約2秒 | |
| 電源 | 単3形電池2本（アルカリ、リチウム、ニッケルマンガン、ニッケル水素電池）、ACアダプターキット（別売） | |
| 電池寿命 | 撮影可能枚数<br>220枚（単3アルカリ電池使用）※1<br>430枚（単3ニッケルマンガン電池使用）※1<br>640枚（単3ニッケル水素電池使用）※1<br>900枚（単3リチウム電池使用）※1 | |
| | 再生時間<br>380分（単3アルカリ電池使用）※2<br>490分（単3ニッケルマンガン電池使用）※2<br>660分（単3ニッケル水素電池使用）※2<br>850分（単3リチウム電池使用）※2 | |
| | 動画撮影時間<br>90分（単3アルカリ電池使用）※2<br>120分（単3ニッケルマンガン電池使用）※2<br>230分（単3ニッケル水素電池使用）※2<br>310分（単3リチウム電池使用）※2 | |
| | 音声録音時間<br>430分（単3アルカリ電池使用）※2<br>540分（単3ニッケルマンガン電池使用）※2<br>740分（単3ニッケル水素電池使用）※2<br>1340分（単3リチウム電池使用）※2<br>※1撮影枚数は CIPA 規格に準じた測定条件による目安であり、使用条件により変わります。<br>※2時間は当社の測定条件による目安であり、使用条件により変わります。 | |

| | | |
|---|---|---|
| 入出力ポート | PC／AV端子、DC入力端子 | |
| ビデオ出力方式 | NTSC／PAL（モノラル音） | |
| PictBridge | 対応プリンター | PictBridge対応のプリンター |
| | 印刷モード | 1画像印刷、全画像印刷、DPOF印刷 |
| | 用紙サイズ指定 | カード、L、2L、ハガキ、100mm×150mm、4"×6"、8"×10"、レター、11"×17"、A4、A3、プリンター設定 |
| | 用紙タイプ指定 | ★★★、★★、★、プリンター設定 |
| | 印刷品質設定 | ★★★、★★、★、プリンター設定 |
| | ふち指定 | あり、なし、プリンター設定 |
| ImageLink | 対応 | |
| 大きさ | 89（幅）× 59.5（高）× 24.5（厚）mm（操作部、突起部を除く）最薄部21.5mm（グリップ部26.5mm） | |
| 質量 | 120g（電池、SDメモリーカード含まず） | |
| 撮影時質量 | 165g（電池、SDメモリーカード含む） | |
| 主な付属品 | 単3形アルカリ電池（2本）、USBケーブル、AVケーブル、ソフトウェア（CD-ROM）、ストラップ、ドックインサート、使用説明書、保証書 | |

# 索引

## 記号



## 数字



## A



## D



## I



## M



## N



## O



## P



## S



## U



## あ行

## か行



## さ行



## た行

## な行



## は行



## ま行



## ら行



9

付録

# アフターサービスについて

1. 本製品が万一故障した場合は、ご購入日から満1年間無料修理致しますので、お買い上げ店か使用説明書に記載されている当社サービス窓口にお申し出ください。修理をお急ぎの場合は、当社のサービス窓口に直接お持ちください。修理品ご送付の際は、輸送中の衝撃に耐えられるようしっかり梱包し、発送や受け取りの記録が残る宅配便などをご利用ください。不良見本のサンプルや故障内容の正確なメモを添付していただけると原因分析に役立ちます。

2. 保証期間中［ご購入後1年間］は、保証書［販売店印および購入年月日が記入されているもの］をご提示ください。保証書がないと保証期間中でも修理が有料になります。なお、販売店または当社サービス窓口へお届けいただく諸費用はお客様にてご負担願います。また、販売店と当社間の運賃諸掛りにつきましても、輸送方法によっては一部ご負担いただく場合があります。

3. 次の場合は、保証期間中でも無料修理の対象にはなりません。
   - 使用上の誤り（使用説明書記載以外の誤操作等）により生じた故障。
   - 当社の指定するサービス機関以外で行われた修理・改造・分解による故障。
   - 火災・天災・地変等による故障。
   - 保管上の不備（高温多湿の場所、防虫剤や有害薬品のある場所での保管等）や手入れの不備（本体内部に砂・ホコリ・液体かぶり等）による故障。
   - 修理ご依頼の際に保証書のご提示、添付がない場合。
   - お買い上げ販売店名や購入日等の記載がない場合ならびに記載事項を訂正された場合。

4. 保証期間以降の修理は有料修理とさせていただきます。なお、その際の運賃諸掛りにつきましてもお客様のご負担とさせていただきます。

5. 本製品の補修用性能部品は、製造打ち切り後5年間を目安に保有しております。したがって本期間中は原則として修理をお受け致します。なお、期間以後であっても修理可能の場合もありますので、当社サービス窓口にお問い合わせください。

6. 海外でご使用になる場合は、国際保証書をお持ちください。国際保証書は、お持ちの保証書と交換に発行いたしますので、使用説明書記載のお客様窓口にご持参またはご送付ください。［保証期間中のみ有効］

7. 保証内容に関して、詳しくは保証書をご覧ください。

# ペンタックスピックアップリペアサービス

全国（一部の離島を除く）どこからでも均一料金で修理品梱包資材のお届け・修理品のお引取りから、修理完成品のお届けまでを一括して提供する便利なサービスです。

**電話受付**

0120-737-919（フリーダイヤル）
03-3975-4314（携帯・PHS用）
受付時間： 午前9:00～午後5:00
（土・日・祝日・年末年始および弊社休業日を除く）

**インターネット受付**

URL：https://www.pentax.co.jp/japan/support/

**FAX受付**

FAX：03-3975-4318
インターネット受付のURLアドレスからFAX申込書をダウンロードしてお使いください。

**[宅配便・郵便修理受付・修理に関するお問い合わせ]**

**ペンタックスサービス（株）東日本修理センター**　03-3975-4341（代）
〒175-0082 東京都板橋区高島平6-6-2
ペンタックス（株）流通センター内
営業時間： 午前9:00～午後5:00
（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

**ペンタックスサービス（株）西日本修理センター**　06-6271-7996（代）
〒542-0081 大阪市中央区南船場1-17-9 パールビル2階
営業時間： 午前9:00～午後5:00
（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

# お客様窓口のご案内

**ペンタックスホームページアドレス** **http://www.pentax.co.jp/**

**[弊社製品に関するお問い合わせ]**
**お客様相談センター**

**ナビダイヤル　0570-001313**
（市内通話料金でご利用いただけます。）

携帯電話、PHS の方は、右記の電話番号をご利用ください。 **☎03-3960-3200（代）**

〒 174-8639　東京都板橋区前野町 2-36-9

営業時間　午前 9：00 ～午後 6：00
（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

**[ショールーム・写真展・修理受付]**
**ペンタックスフォーラム** **☎03-3348-2941（代）**

〒 163-0401　東京都新宿区西新宿 2-1-1 新宿三井ビル 1 階（私書箱 240 号）

営業時間　午前 10：30 ～午後 6：30
（年末年始および三井ビル点検日を除き年中無休）

**[ペンタックスファミリーのご案内]**
**「写真をもっと楽しむために …」**

ペンタックスファミリーは、ペンタックス愛用者の全国的な写真クラブです。会員の方には、年 4 回発行の機関誌「Pentax Family」や年 1 回発行の「ペンタックス写真年鑑」などの刊行物をお届けするほか、写真セミナーなどのイベントへの参加や修理料金の会員割引等の様々な特典をご用意しています。あなたも「ペンタックスファミリー」で素晴らしい写真の世界をお楽しみください。

**ペンタックスファミリー事務局** **☎03-3960-5740（代）**

〒 174-8639　東京都板橋区前野町 2-36-9

営業時間　午前 9:00 ～午後 5:30
（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

ペンタックスファミリーホームページアドレス　http://www.pentax.co.jp/family/

**ユーザー登録のお願い**

お客様へのサービス向上のため、お手数ですがユーザー登録にご協力いただきますよう、お願い申し上げます。
付属しています CD-ROM と弊社ホームページから登録が可能です。
同梱の「PC 接続ガイド」（表面右下）をご参照ください。

for your
precious moments

**ペンタックス株式会社**
〒 174-8639 東京都板橋区前野町 2-36-9

☆この説明書には再生紙を使用しています。
☆仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。

57631

01-200601
Printed in Japan